

# Oracle® Integrated Lights Out Manager (ILOM) CMM

---

管理ガイド – Sun Blade 6000/  
Sun Blade 6048 モジュラーシステム



Copyright © 2007, 2010, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS. Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション (人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む) への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性 (redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle と Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

AMD, Opteron, AMD ロゴ, AMD Opteron ロゴは, Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。Intel, Intel Xeon は, Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し, SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は X/Open Company, Ltd. からライセンスされている登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。



リサイクル  
してください



Adobe PostScript

# 目次

---

このマニュアルの使用方法 ix

1. CMM ILOM の概要 1

CMM ILOM 機能の概要 2

ILOM のバージョン 2

CMM ILOM のドキュメント 3

このマニュアルについて 3

2. CMM ILOM の初期設定 5

CMM ILOM への接続 6

▼ シリアル接続を使用した CMM ILOM への接続 7

▼ IPv4 ネットワークアドレスの表示および設定 9

▼ IPv4/IPv6 デュアルスタックのネットワークアドレスの表示と設定 11

▼ IPv4 または IPv6 ネットワーク構成のテスト 16

ネットワーク接続を使用した CMM ILOM へのログイン 17

▼ Web インタフェースを使用した ILOM 3.0 へのログイン 18

▼ CLI を使用した ILOM 3.0 へのログイン 19

CMM の Ethernet ポートの有効化 19

▼ Web インタフェースを使用した Ethernet ポートの有効化 20

▼ CLI を使用した Ethernet ポートの有効化 21

ブレード SP CLI プロンプトの変更 22

- ▼ ブレード SP CLI プロンプトの設定 22
- ▼ ブレード SP CLI プロンプトのデフォルトへのリセット 23

3. ファームウェアの更新手順 25

CMM ILOM ファームウェアの更新 25

CMM の IP アドレスの取得 26

現在のファームウェアバージョンの確認 26

- ▼ Web インタフェースを使用してファームウェアのバージョンを確認する 27
- ▼ 管理 Ethernet ポートの CLI を使用してファームウェアのバージョンを確認する 28
- ▼ シリアル管理ポートの CLI を使用してファームウェアのバージョンを確認する 29

ファームウェアのファイルのダウンロード 29

- ▼ ファームウェアのファイルのダウンロード 30

ILOM ファームウェアの更新 30

- ▼ Web インタフェースを使用して ILOM ファームウェアを更新する 31
- ▼ CLI を使用して ILOM ファームウェアを更新する 32

NEM のファームウェアの更新 33

- ▼ CLI を使用して NEM のファームウェアを更新する 34
- ▼ Web インタフェースを使用して NEM のファームウェアを更新する 37

CMM を使用したシャーシコンポーネントのファームウェアの更新 39

- ▼ Web インタフェースを使用してファームウェアを更新する 40
- ▼ CLI を使用してファームウェアを更新する 42

CMM のリセット 43

- ▼ Web インタフェースを使用して CMM をリセットする 43
- ▼ CLI を使用して CMM をリセットする 44

4. CMM の電力管理	45
軽負荷効率モード (LLEM)	46
LLEM について	46
Web インタフェースを使用した LLEM の設定	46
▼ Web インタフェースを使用して LLEM を有効または無効にする	47
▼ Web インタフェースを使用して冗長モードを有効または無効にする	48
CLI を使用した LLEM の設定	48
▼ CLI を使用して LLEM を有効または無効にする	49
▼ CLI を使用して冗長モードを有効にする	49
▼ CLI を使用して非冗長モードを有効にする	49
電源装置のファン速度を調整する	50
▼ Web インタフェースを使用して電源装置のファン速度を設定する	50
▼ CLI を使用して電源装置のファン速度を設定する	51
電力管理ポリシーの無効化	51
▼ Web インタフェースを使用して電力管理ポリシーを無効にする	52
▼ CLI を使用して電力管理ポリシーを無効にする	53
Sun Blade 6048 の特定の場合における ILOM 3.0	53
2 本の電源コード構成の場合の ILOM の動作	53
▼ 2 本の電源コード用の CMM を設定する	54
電源装置の特定の状態における ILOM の表示	55
AC ケーブルの接続が解除された場合	55
AC ケーブルの接続が解除後に再接続された場合	56
stop /CH コマンド	56
start /CH コマンド	57
PSU が 1 つ取り外されている場合	57
PSU が再挿入される場合	58

5. Sun Blade Zone Manager	59
Sun Blade Zone Manager について	60
Sun Blade Zone Manager 概要	60
サポートされる ILOM インタフェース	60
Web インタフェースを使用した Zone Manager へのアクセス	61
CLI を使用した Zone Manager へのアクセス	63
ゾーン構成の概要	64
ゾーン機能のコマンド	64
サーバーブレードへのストレージの割り当て	65
ストレージへのサーバーブレードの割り当て	66
サポートされるハードウェアおよびファームウェアの構成	67
SAS-2 対応のハードウェア	67
その他のシステム要件	67
Sun Blade Zone Manager へのアクセス	68
▼ Web インタフェースを使用して Sun Blade Zone Manager にアクセスして有効にする	68
▼ CLI を使用して Sun Blade Zone Manager にアクセスして有効にする	71
シャーシのストレージアクセス構成の作成	73
Quick Setup を使用したシャーシのストレージアクセス構成の作成	73
Quick Setup のオプション	74
▼ Quick Setup を使用して Web インタフェースでシャーシの初期ストレージ構成を作成する	77
Detailed Setup を使用したシャーシのストレージアクセス構成の作成	79
▼ Detailed Setup を使用して Web インタフェースでシャーシのストレージ構成を作成する	80
CLI を使用したシャーシのストレージ構成の作成	84
▼ CLI を使用してシャーシのストレージ構成を作成する	84
シャーシのストレージアクセス構成の表示または変更	86
▼ Web インタフェースを使用してシャーシのストレージ構成を表示および変更する	87

- ▼ CLI を使用してシャーシのストレージ構成を表示および変更する 93
- ▼ Web インタフェースを使用して複数のサーバーブレードをストレージデバイスに割り当てる 95
- ▼ Web インタフェースを使用してストレージアクセス構成表を表示する 99
- シャーシのストレージアクセス構成の保存 101
  - ゾーン構成の保存に関する重要な考慮事項 101
  - 新規または変更したストレージアクセス構成の保存 101
- ストレージアクセス構成のバックアップ 103
  - ▼ Web インタフェースを使用してゾーン構成をバックアップファイルに保存する 103
  - ▼ CLI を使用してゾーン構成をバックアップファイルに保存する 104
- ゾーン構成の復元 105
  - ▼ Web インタフェースを使用してゾーン構成を復元する 105
  - ▼ CLI を使用してゾーン構成を復元する 108
- ゾーン構成のリセット 109
  - ▼ Web インタフェースを使用してゾーン構成をリセットする 109
  - ▼ CLI を使用してゾーン構成をリセットする 110
- ゾーンのパスワードのリセット 111
  - ▼ Web インタフェースを使用してゾーンのパスワードをリセットする 111
  - ▼ CLI を使用してゾーンのパスワードをリセットする 112
- 索引 113





# このマニュアルの使用法

---

『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) CMM 管理ガイド – Sun Blade 6000/Sun Blade 6048 モジュラーシステム』では、Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) の修正版である、シャーシ管理モジュール (CMM) を使用して Sun Blade モジュラーシステムシャーシを管理する方法を説明しています。このマニュアルでは、これを CMM ILOM と呼びます。

---

## 関連ドキュメント

Sun Blade モジュラーシステムのドキュメントセットについては、使用しているシステムの付属ドキュメントで説明されています。

- Sun Blade 6000 モジュラーシステムのドキュメントの入手先 (820-1701)
- Sun Blade 6048 モジュラーシステムのドキュメントの入手先 (820-2311)

モジュラーシステムのドキュメントは、次の Web サイトから入手できます。

- Sun Blade 6000: <http://docs.sun.com/app/docs/prod/blade.6000mod>
- Sun Blade 6048: <http://docs.sun.com/app/docs/prod/blade.6048mod>

Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 の各種マニュアルは、次の Web サイトから入手できます。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr30#hic>

一部のドキュメントの翻訳版は、次の Web サイトから入手できます。

<http://docs.sun.com>

ドキュメントの簡体字中国語、繁体字中国語、フランス語、日本語、韓国語の翻訳版が入手可能です。

---

# マニュアル、サポート、およびトレーニング

次の Web サイトでは追加リソースが提供されています。

- マニュアル: <http://docs.sun.com/>
- サポート: <http://www.sun.com/support/>
- トレーニング: <http://www.sun.com/training/>

---

## ドキュメントのコメント

このドキュメントに関するコメントは、次のサイトで「Feedback [+]」リンクをクリックしてお送りください。

<http://docs.sun.com>

ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルとパーツ番号を記載してください。

『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) CMM 管理ガイド – Sun Blade 6000/Sun Blade 6048 モジュラーシステム』、Part No. 821-3083-10。

# 第1章

## CMM ILOM の概要

---

Sun Blade 6000 モジュラーシステムのシャーシには最大 10 個のブレードが格納され、Sun Blade 6048 モジュラーシステムのシャーシには最大 48 個のブレードが格納されます。サポートされるブレードには、Sun Blade サーバーモジュールと Sun Blade ストレージモジュールがあります。

各サーバーモジュールには、固有の ILOM サービスプロセッサ (SP) がありますが、これはシャーシ監視モジュール (CMM) ILOM からは独立したものです。CMM ILOM では、Sun Blade 6000 および Sun Blade 6048 モジュラーシステムシャーシを管理します。シャーシコンポーネントの管理、および個別のサーバーモジュール内のサービスプロセッサへのアクセスを可能にします。

CMM ILOM の操作は、コマンド行インタフェース (CLI) または Web インタフェースで行います。

この節では、次の項目について説明します。

- [2 ページの「CMM ILOM 機能の概要」](#)
- [2 ページの「ILOM のバージョン」](#)
- [3 ページの「CMM ILOM のドキュメント」](#)
- [3 ページの「このマニュアルについて」](#)

---

# CMM ILOM 機能の概要

CMM の ILOM は、個別のコンポーネントのシステム管理やシャーシレベルでの総合的なコンポーネント管理が可能な階層型の管理アーキテクチャーを備えています。

管理機能の概要は次のとおりです。

- サーバーモジュールの BMC 機能によってシャーシの環境センサーを認識可能にする IPMI サテライトコントローラの実装
- CLI、Web、SNMP、IPMI の各インタフェースによる環境およびインベントリの直接管理
- CMM、ネットワークエクスプレスモジュール (NEM)、およびサーバーモジュールの SP のファームウェア管理
- コマンド行インタフェース (CLI) の SSH コンテキストに加え、サーバーモジュールおよび HTTP リンクのパススルー管理
- シャーシの電源制御
- 次のコンポーネントへのアクセス
  - シャーシ
  - 電源装置
  - ファン
  - Network Express Module (NEM)
  - サーバーモジュールの SP
- SAS-2 対応ストレージモジュールからシャーシ内の SAS-2 対応サーバーブレードへの、Sun Blade Zone Manager によるストレージデバイス割り当て。この機能は Sun Blade 6000 シャーシでのみ使用可能です。

---

## ILOM のバージョン

このドキュメントの ILOM に関する情報は、ILOM バージョン 3.x.x (ILOM 3.0.3 以降) に該当します。

ILOM 2.x については、次のドキュメントを参照してください。

ILOM 2.0 の各種マニュアル: <http://docs.sun.com/app/docs/coll/ilom2.0>

---

# CMM ILOM のドキュメント

次のドキュメントは、CMM ILOM の機能性と使用方法について説明しています。

- Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 の各種マニュアル – ILOM 3.0 の機能と使用方法に関する総合的なドキュメントです。
- Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) CMM 管理ガイド – Sun Blade 6000/Sun Blade 6048 モジュラーシステム (本書) – CMM ILOM 固有の ILOM の機能性について説明しています。
- 『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 補足 – Sun Blade 6000/Sun Blade 6048 モジュラーシステム』 – CMM ILOM バージョン 3.x 固有の補足情報です。

Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 の各種マニュアルは、次の Web サイトから入手できます。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr30#hic>

Sun Blade 6000 および Sun Blade 6048 モジュラーシステムのドキュメントは、次の Web サイトから入手できます。

Sun Blade 6000: <http://docs.sun.com/app/docs/prod/blade.6000mod>

Sun Blade 6048: <http://docs.sun.com/app/docs/prod/blade.6048mod>

---

## このマニュアルについて

このマニュアルでは、Sun Blade 6000 および Sun Blade 6048 モジュラーシステム固有の管理作業について説明しています。説明されているトピックは次の表のとおりです。

説明	章
CMM ILOM の初期設定を実行する	• 5 ページの「CMM ILOM の初期設定」
シャーシおよびコンポーネントのファームウェアを更新する	• 25 ページの「ファームウェアの更新手順」
ILOM の電源管理機能を使用する	• 45 ページの「CMM の電力管理」
ストレージのゾーン構成を表示または変更する	• 59 ページの「Sun Blade Zone Manager」



## 第2章

# CMM ILOM の初期設定

---

この章では、CMM ILOM にアクセスし、初期設定を行う方法について説明します。

CMM ILOM への最初のアクセスは、シャーシの背面パネルにあるシリアルコネクタまたは NET MGT 0 Ethernet コネクタから行います。

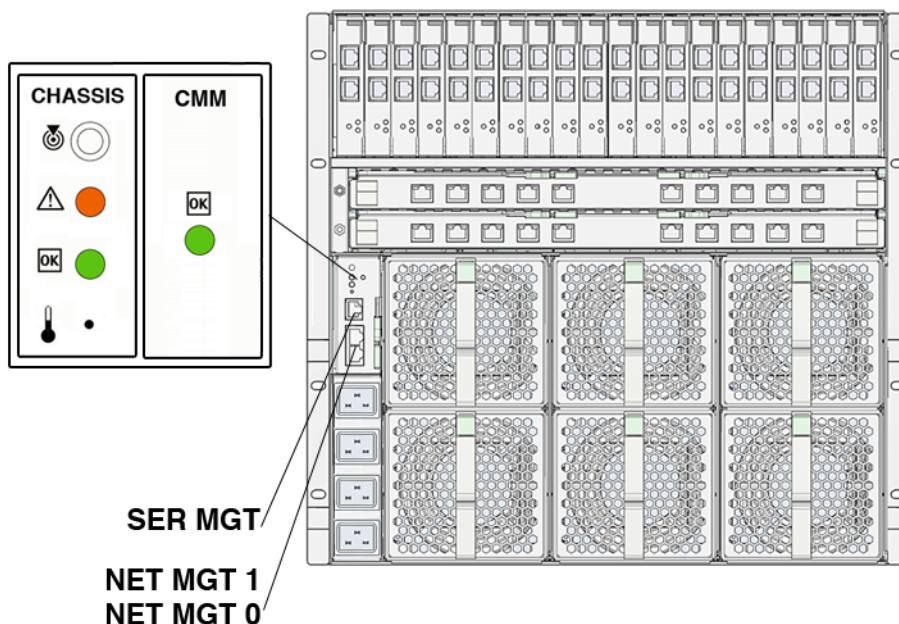
この章には、次の表で示されているように、CMM ILOM のセットアップについての情報が含まれています。

説明	リンク
CMM ILOM に接続し、CMM の IP アドレスを設定する	• <a href="#">6 ページの「CMM ILOM への接続」</a>
CMM ILOM への初回ログインを行う	• <a href="#">17 ページの「ネットワーク接続を使用した CMM ILOM へのログイン」</a>
CMM の Ethernet ポートを有効にする	• <a href="#">19 ページの「CMM の Ethernet ポートの有効化」</a>
ブレードの CLI プロンプトを変更する	• <a href="#">22 ページの「ブレード SP CLI プロンプトの変更」</a>

## CMM ILOM への接続

初期ネットワーク構成情報を使用して CMM を設定するには、ILOM を使用して CMM への接続を確立する必要があります。CMM のシリアル管理 (SER MGT) ポートを使用して ILOM へのローカル接続を確立することができます。また、ネットワーク管理 (NET MGT) ポートを使用して ILOM へのリモート接続を確立することができます (図 2-1 を参照)。

図 2-1 CMM のネットワークポートとシリアルポート



デフォルトでは、ネットワーク管理ポートを使用して ILOM への接続を確立すると、ILOM は DHCP (IPv4) またはステートレス機構 (IPv6) を使用して CMM の IP アドレスを自動的に取得します。CMM の NET MGT ポートへのネットワーク管理接続が確立されていないと、ILOM が CMM の IP アドレスを取得できません。このため、シリアル接続で ILOM に接続する必要があります。ILOM への接続を確立した後は、CMM に割り当てられている IP アドレスを表示できます。また、必要に応じて、この IP アドレスを変更することも可能です。



次のステップ:

- CMM に割り当てられている IP アドレスが不明な場合は、[2-7 ページの「シリアル接続を使用した CMM ILOM への接続」](#)を参照してください。  
または
- CMM に割り当てられている IP アドレスが判明しており、CMM へのネットワーク管理接続を確立している場合は、次のいずれかの節を参照して CMM の IP アドレスを表示または修正します。
  - [9 ページの「IPv4 ネットワークアドレスの表示および設定」](#)
  - [11 ページの「IPv4/IPv6 デュアルスタックのネットワークアドレスの表示と設定」](#)

## ▼ シリアル接続を使用した CMM ILOM への接続

CMM ILOM は、ターミナルエミュレーションソフトウェアを実行している端末または PC をシャーシのシリアルコネクタに接続すれば、いつでもアクセスできます。

1. 端末、ノートパソコン、または端末サーバーが動作していることを確認します。
2. その端末デバイスまたはターミナルエミュレーションソフトウェアを次のように設定します。
  - 8N1: データビット 8、パリティなし、ストップビット 1
  - 9600 ボー
  - ソフトウェアのフローコントロール無効 (XON/XOFF)
3. シリアルケーブルを使用してシャーシパネルのシリアルポート (SER MGT) を端末デバイスに接続します。

---

注 – シリアルポートに接続するシリアルケーブルは、次の表に示すようにピンを割り当てる必要があります。

---

ピン	信号の説明
1	送信要求 (RTS)
2	データ端末レディー (DTR)
3	送信データ (TXD)
4	アース
5	アース

---

ピン	信号の説明
6	受信データ (RXD)
7	データキャリア検出 (DCD)
8	送信可 (CTS)

---

#### 4. 端末デバイスで Enter を押します。

これにより、端末デバイスと CMM ILOM の間で接続が確立されます。

---

**注** – CMM ILOM の電源投入完了前、または電源投入シーケンス中に、端末またはエミュレータをシリアルポートに接続すると、起動メッセージが表示されます。

---

システムの起動が完了すると、CMM ILOM にログインプロンプトが表示されます。

```
<hostname> login:
```

#### 5. CLI にログインします。

a. デフォルトのユーザー名 **root** を入力します。

b. デフォルトのパスワード **changeme** を入力します。

ログインに成功すると、CMM ILOM の次のデフォルトのコマンドプロンプトが表示されます。

```
->
```

CMM ILOM は CLI を実行しています。CLI コマンドを実行できるようになりました。

**次のステップ:** 次のいずれかの手順で、CMM ILOM の IP アドレスを表示または設定します。

- [9 ページの「IPv4 ネットワークアドレスの表示および設定」](#)
- [11 ページの「IPv4/IPv6 デュアルスタックのネットワークアドレスの表示と設定」](#)

## ▼ IPv4 ネットワークアドレスの表示および設定

1. リモート SSH 接続またはローカルシリアル接続を使用して、CMM ILOM にログインします。  
詳細については、次のいずれかの節を参照してください。
  - [7 ページの「シリアル接続を使用した CMM ILOM への接続」](#)
  - [19 ページの「CLI を使用した ILOM 3.0 へのログイン」](#)
2. 次のいずれかのコマンドを入力して、作業用ディレクトリを設定します。
  - シャーシ CMM の場合: `cd /CMM/network`
  - シャーシブレードサーバーモジュールの場合: `cd /SP/network`
3. `show` コマンドを入力して、IP アドレスのネットワークのプロパティーを表示します。
4. DHCP または静的 IPv4 ネットワーク構成を設定するためには、次のいずれかを実行します。
  - **DHCP IPv4 のネットワーク構成を設定するためには、次のプロパティーの値を設定します。**

プロパティー	プロパティーの設定値	説明
<code>state</code>	<code>set state=enabled</code>	IPv4 では、ネットワークの <code>state</code> は、デフォルトで <code>enabled</code> に設定されています。 注 - DHCP IPv4 ネットワークオプションを有効にするには、 <code>state</code> が <code>enabled</code> に設定されている必要があります。
<code>pendingipdiscovery</code>	<code>set pendingipdiscovery=dhcp</code>	IPv4 では、 <code>ipdiscovery</code> プロパティーの値はデフォルトで <code>dhcp</code> に設定されています。 注 - プロパティーのデフォルトの値 <code>dhcp</code> が <code>static</code> に変更されている場合は、このプロパティーの値を <code>dhcp</code> に戻す必要があります。
<code>commitpending=</code>	<code>set commitpending=true</code>	<code>set commitpending=true</code> と入力して、 <code>state</code> および <code>ipdiscovery</code> プロパティーの値に対して行った変更を確定します。

- 静的 IPv4 ネットワーク構成を設定するためには、次のプロパティの値を設定します。

プロパティ	プロパティの設定値	説明
state	set state=enabled	IPv4 では、ネットワークの state は、デフォルトで enabled に設定されています。 注 - 静的 IPv4 ネットワークオプションを有効にするには、state が enabled に設定されている必要があります。
pendingipdiscovery	set pendingipdiscovery=static	静的 IPv4 ネットワーク構成の設定を有効にするには、pendingipdiscovery プロパティの値を static に設定する必要があります。 注 - IPv4 では、ipdiscovery プロパティの値はデフォルトで dhcp に設定されています。
pendingipaddress pendingipnetmask pendingipgateway	set pendingipaddress= <ip_address> pendingipnetmask= <netmask> pendingipgateway= <gateway>	複数の静的ネットワーク設定を割り当てるためには、set コマンドの後に、各プロパティの値 (IP address, netmask, gateway) の pending コマンドを入力してから、割り当てる静的な値を入力します。
commitpending=	set commitpending=true	set commitpending=true と入力して、IPv4 ネットワークのプロパティに対して行った変更を確定します。

注 - リモート SSH 接続を使用して ILOM に接続した場合、以前の IP アドレスを使用して確立された ILOM への接続はタイムアウトします。ILOM に接続するには、新しく割り当てた設定を使用します。

5. ネットワークテストツール (Ping) を使用して、ILOM から IPv4 ネットワーク構成をテストします。詳細は、[2-16 ページの「IPv4 または IPv6 ネットワーク構成のテスト」](#)を参照してください。

## ▼ IPv4/IPv6 デュアルスタックのネットワークアドレスの表示と設定

---

注 – ここでは、IPv4 と IPv6 のデュアルスタックネットワーク環境で動作するように ILOM を設定する手順について説明します。ILOM での IPv4/IPv6 デュアルスタックのサポートの詳細については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 概念ガイド』を参照してください。

---

1. リモート SSH 接続またはローカルシリアル接続を使用して、CMM ILOM にログインします。  
詳細については、次のいずれかの節を参照してください。
  - [7 ページの「シリアル接続を使用した CMM ILOM への接続」](#)
  - [19 ページの「CLI を使用した ILOM 3.0 へのログイン」](#)
2. 使用しているネットワーク環境に該当する、次のいずれかのネットワーク構成手順を行います。
  - IPv4 ネットワークを構成するには、次の[手順 3 - 手順 5](#)の手順を行います。
  - IPv6 ネットワークを構成するには、次の[手順 6 - 手順 10](#)の手順を行います。
3. IPv4 ネットワークを構成するには、`cd` コマンドを使用してデバイスの作業用ディレクトリ `/x/network` に移動します。  
例:
  - シャーシ CMM の場合、`cd /CMM/network` と入力します。
  - シャーシのブレードサーバー SP の場合、`cd /CH/BLn/network` と入力します。
  - シャーシのブレードサーバーに複数の SP ノードがある場合、`cd /CH/BLn/NodeN/network` と入力します。
4. `show` コマンドを入力して、デバイスで設定された IPv4 ネットワーク構成を表示します。

5. DHCP または静的 IPv4 ネットワーク構成を設定するためには、次のいずれかを実行します。

- DHCP IPv4 のネットワーク構成を設定するためには、次のプロパティーの値を設定します。

プロパティー	プロパティーの設定値	説明
state	set state=enabled	IPv4 では、ネットワークの state は、デフォルトで enabled に設定されています。 注 - DHCP IPv4 ネットワークオプションを有効にするには、state が enabled に設定されている必要があります。
pendingipdiscovery	set pendingipdiscovery=dhcp	IPv4 では、ipdiscovery プロパティーの値はデフォルトで dhcp に設定されています。 注 - プロパティーのデフォルトの値 dhcp が static に変更されている場合は、このプロパティーの値を dhcp に戻す必要があります。
commitpending=	set commitpending=true	set commitpending=true と入力して、state および ipdiscovery プロパティーの値に対して行った変更を確定します。

- 静的 IPv4 ネットワーク構成を設定するためには、次のプロパティーの値を設定します。

プロパティー	プロパティーの設定値	説明
state	set state=enabled	IPv4 では、ネットワークの state は、デフォルトで enabled に設定されています。 注 - 静的 IPv4 ネットワークオプションを有効にするには、state が enabled に設定されている必要があります。
pendingipdiscovery	set pendingipdiscovery=static	静的 IPv4 ネットワーク構成の設定を有効にするには、pendingipdiscovery プロパティーの値を static に設定する必要があります。 注 - IPv4 では、ipdiscovery プロパティーの値はデフォルトで dhcp に設定されています。
pendingipaddress pendingipnetmask pendingipgateway	set pendingipaddress= <ip_address> pendingipnetmask= <netmask> pendingipgateway= <gateway>	複数の静的ネットワーク設定を割り当てるためには、set コマンドの後に、各プロパティーの値 (IP address、netmask、gateway) の pending コマンドを入力してから、割り当てる静的な値を入力します。
commitpending=	set commitpending=true	set commitpending=true と入力して、IPv4 ネットワークのプロパティーに対して行った変更を確定します。

- IPv6 ネットワークを構成するには、`cd` コマンドを使用してデバイスの作業用ディレクトリ `/x/network/ipv6` に移動します。

例:

- シャーシ CMM の場合、`cd /CMM/network/ipv6` と入力します。
- シャーシのブレードサーバー SP の場合、`cd /CH/BLn/network/ipv6` と入力します。
- シャーシのブレードサーバーに複数の SP ノードがある場合、`cd /CH/BLn/NodeN/network/ipv6` と入力します。

- `show` コマンドを入力して、デバイスで設定された IPv6 ネットワーク構成を表示します。

次の例は、サーバーの SP デバイス上の IPv6 プロパティを対象としたサンプル出力の値です。

```
-> show

/SP/network/ipv6
Targets:

Properties:
  state = enabled
  autoconfig = stateless
  dhcpv6_server_duid = (none)
  link_local_ipaddress = fe80::214:4fff:feca:5f7e/64
  static_ipaddress = ::/128
  ipgateway = fe80::211:5dff:febe:5000/128
  pending_static_ipaddress = ::/128
  dynamic_ipaddress_1 = fec0:a:8:b7:214:4fff:feca:5f7e/64

Commands:
  cd
  show
```

---

**注** - `autoconfig=` プロパティが `dhcpv6_stateful` または `dhcpv6_stateless` に設定されている場合、`dhcpv6_server_duid` の読み取り専用のプロパティは、DHCP 情報を取得するために ILOM によって前回使用された DHCPv6 サーバーの DHCP 固有識別子を特定します。

---

---

注 – ILOM 3.0.14 (およびそれ以降) の IPv6 autoconfig プロパティのデフォルト値は autoconfig=stateless です。ただし、CMM またはサーバーモジュールに ILOM 3.0.12 がインストールされている場合には、autoconfig プロパティのデフォルト値は autoconfig=stateless\_only と表示されます。

---

8. IPv6 自動設定オプションを設定するためには、set コマンドを使用して、次の自動設定プロパティの値を指定します。

プロパティ	プロパティの設定値	説明
state	set state=enabled	IPv6 では、ネットワークの state はデフォルトで enabled に設定されています。IPv6 自動設定オプションを有効にするには、この state が enabled に設定されている必要があります。
autoconfig	set autoconfig=<value>	このコマンドの後に、設定する autoconf の値を指定します。オプションには、次のものがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• stateless (ILOM 3.0.14 またはそれ以降のデフォルト設定) または stateless_only (ILOM 3.0.12 のデフォルト設定) IPv6 ネットワークルーターから取得した IP アドレスを自動的に割り当てます。</li><li>• dhcpv6_stateless DHCP サーバーから取得した DNS 情報を自動的に割り当てます。プロパティの値 dhcpv6_stateless は ILOM 3.0.14 以降で使用できます。</li><li>• dhcpv6_stateful DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスを自動的に割り当てます。プロパティの値 dhcpv6_stateful は ILOM 3.0.14 以降で使用できます。</li><li>• disable すべての自動設定プロパティの値を無効化し、リンクローカルアドレスの読み取り専用のプロパティの値を設定します。</li></ul>

---

注 – IPv6 設定オプションは、設定後に有効になります。/network ターゲットでこれらの変更を確認する必要はありません。

---

---

注 – デバイスへ取得した IPv6 自動設定アドレスは、デバイスへのアクティブな ILOM セッションには影響しません。新しく取得した自動設定アドレスは、/network/ipv6 ターゲットで確認できます。

---



---

注 – ILOM 3.0.14 以降、`dhcpv6_stateless` オプションまたは `dhcpv6_stateful` オプションを有効にしたとき、`stateless` 自動設定オプションも同時に有効にすることが可能です。ただし、`dhcpv6_stateless` および `dhcpv6_stateful` 自動設定オプションは同時に有効にすることはできません。

---

9. 次の手順を行って、静的 IPv6 アドレスを設定します。

- a. 暫定的な静的 IPv6 アドレスを設定するためには、次のプロパティの値を指定します。

プロパティ	プロパティの設定値	説明
<code>state</code>	<code>set state=enabled</code>	IPv6 では、ネットワークの <code>state</code> はデフォルトで <code>enabled</code> に設定されています。静的 IP アドレスを有効にするためには、この <code>state</code> が <code>enabled</code> に設定されている必要があります。
<code>pendingipaddress</code>	<code>set pending_static_ipaddress=&lt;ip6_address&gt;/&lt;subnet mask length in bits&gt;</code>	このコマンドの後に、静的な IPv6 アドレスのプロパティの値とデバイスに割り当てるネットワークマスクを入力します。 IPv6 アドレスの例を次に示します。 <code>fec0:a:8:b7:214:4fff:feca:5f7e/64</code>

- b. 暫定的な IPv6 の静的ネットワークパラメーターを確定 (保存) するためには、次の表の手順を行います。

手順	説明
1	<code>cd</code> コマンドを使用して、ディレクトリをデバイスの <code>network</code> ターゲットに変更します。 例: <ul style="list-style-type: none"> <li>シャーシ CMM の場合、<code>cd /CMM/network</code> と入力します。</li> <li>シャーシのブレードサーバー SP の場合、<code>cd /CH/BLn/network</code> と入力します。</li> <li>シャーシのブレードサーバーに複数の SP ノードがある場合、<code>cd /CH/BLn/NodeN/network</code> と入力します。</li> </ul>
2	次のコマンドを入力して、変更した IPv6 プロパティの値を確定します。 <code>set commitpending=true</code>

---

注 – 新しい静的 IP アドレスをデバイス (SP または CMM) に割り当てると、デバイスへのアクティブな ILOM セッションがすべて終了します。ILOM に再度ログインするためには、新しく割り当てた IP アドレスを使用して新しいブラウザセッションを開始する必要があります。

---

10. IPv4 または IPv6 ネットワーク構成を ILOM からテストするためには、ネットワークテストツール (Ping および Ping6) を使用します。詳細は、[2-16 ページの「IPv4 または IPv6 ネットワーク構成のテスト」](#)を参照してください。

## ▼ IPv4 または IPv6 ネットワーク構成のテスト

1. ILOM SP CLI または CMM CLI にログインします。  
サーバー SP または CMM とのローカルシリアルコンソール接続または SSH 接続を確立します。
2. `cd` コマンドを使用してデバイスの作業用ディレクトリ `/x/network/test` に移動します。次に例を示します。
  - シャーシ CMM の場合、`cd /CMM/network/test` と入力します。
  - シャーシのブレードサーバー SP の場合、`cd /CH/BLn/network/test` と入力します。
  - シャーシのブレードサーバーに複数の SP ノードがある場合、`cd /CH/BLn/Node1/network/test` と入力します。
3. `show` コマンドを入力して、ネットワークの `test` ターゲットとプロパティを表示します。  
次の例は、CMM デバイスの `test` ターゲットのプロパティを示す出力です。

```
-> show

/CMM/network/test
Targets:

Properties:
  ping = (Cannot show property)
  ping6 = (Cannot show property)

Commands:
  cd
  set
  show
```

4. `set ping` コマンドまたは `set ping6` コマンドを使用して、デバイスから指定したネットワーク上の宛先へネットワークテストを送信します。

プロパティ	プロパティの設定値	説明
ping	<code>set ping=&lt;IPv4_address&gt;</code>	コマンドプロンプトで、 <code>set ping=</code> コマンドの後に、IPv4 テストの宛先のアドレスを入力します。 例: -> <code>set ping=10.8.183.106</code> Ping of 10.8.183.106 succeeded
ping6	<code>set ping6=&lt;IPv6_address&gt;</code>	<code>set ping6=</code> コマンドの後に、IPv6 テストの宛先のアドレスを入力します。 例: -> <code>set ping6=fe80::211:5dff:febe:5000</code> Ping of fe80::211:5dff:febe:5000 succeeded

次のステップ:

- ILOM へのログインにネットワーク管理接続を使用していない場合は、[17 ページの「ネットワーク接続を使用した CMM ILOM へのログイン」](#)を参照してください。
- このドキュメントまたは Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 の各種マニュアルで説明されている CMM 管理タスクを実行します。

---

## ネットワーク接続を使用した CMM ILOM へのログイン

この節では、ネットワーク接続を使用して CMM ILOM に初回ログインする手順について説明します。ILOM の設定の詳細については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 入門ガイド』を参照してください。

この節では、次の手順について説明します。

- [18 ページの「Web インタフェースを使用した ILOM 3.0 へのログイン」](#)
- [19 ページの「CLI を使用した ILOM 3.0 へのログイン」](#)

## ▼ Web インタフェースを使用した ILOM 3.0 へのログイン

次の手順に従って、root ユーザーアカウントで ILOM の Web インタフェースへの初回のログインを実行します。

1. Ethernet ケーブルを NET0 Ethernet ポートに接続します。
2. Web ブラウザに **http://system\_ipaddress** と入力します。  
Web インタフェースのログインページが表示されます。



3. 次のように、root ユーザーアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名: **root**  
パスワード: **changeme**
4. 「Log In」をクリックします。  
Web インタフェースの「Version」ページが表示されます。

## ▼ CLI を使用した ILOM 3.0 へのログイン

ILOM CLI にはじめてログインする際は、SSH および root ユーザーアカウントを使用します。

1. Ethernet ケーブルを NET0 Ethernet ポートに接続します。
2. 次のように入力して、root ユーザーアカウントを使用して ILOM CLI にログインします。

```
$ ssh root@system_ipaddress
```

パスワード: **changeme**

ILOM CLI のプロンプト (->) が表示されます。

---

## CMM の Ethernet ポートの有効化

デフォルトでは、CMM の Ethernet ポート 0 は有効になっています。CLI または Web インタフェースを使用して、ポート 1 または両方のポートを有効にすることができます。



---

**注意** – CMM の Ethernet ポートを両方とも有効にすると、Ethernet ネットワークで問題が発生したり、外部ネットワークが停止したりする可能性があります。両方のポートを有効にする前に、外部のスイッチがトランクモードをサポートしていることを確認してください。アップストリームの Ethernet スイッチを正しく設定して、Ethernet のトラフィックのループが発生しないようにする必要があります。通常、この設定はスパニングツリーアルゴリズムを使用して行われます。

---

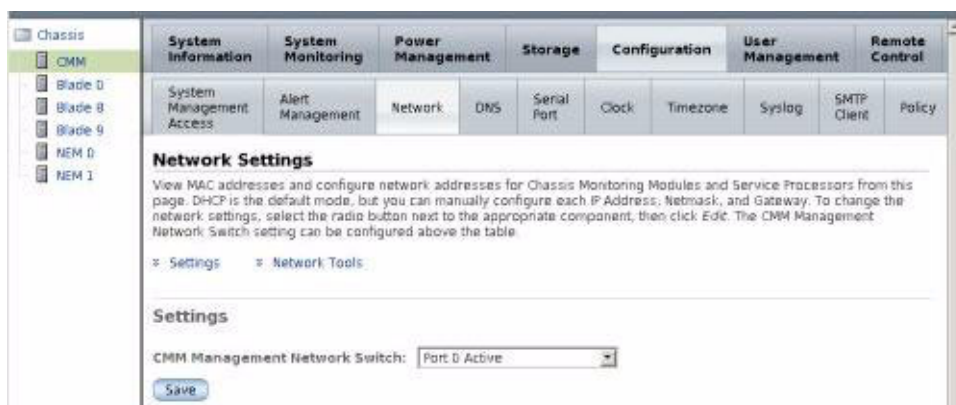
ここで説明する手順の具体的な内容は次のとおりです。

- 20 ページの「Web インタフェースを使用した Ethernet ポートの有効化」
- 21 ページの「CLI を使用した Ethernet ポートの有効化」

## ▼ Web インタフェースを使用した Ethernet ポートの有効化

Web インタフェースを使用して Ethernet ポートを有効にする手順は、次のとおりです。

1. ILOM Web インタフェースにログインします。
2. 左のパネルから「CMM」をクリックします。
3. 「Configuration」 --> 「Network」 を選択します。



4. 「CMM Management Network Switch」ドロップダウンリストから、次のいずれかを選択します。
  - Port 0 Active – ポート 0 のみを有効にします。
  - Port 1 Active – ポート 1 のみを有効にします。
  - Trunking (Link Aggregation) – 両方のポートを有効にします。
5. 「Save (保存)」をクリックします。
6. CMM を取り外し、シャーシに再度取り付けます。

シャーシの CMM の取り外しおよび再装着の手順については、シャーシのサービスマニュアルを参照してください。

これでアクティブなポートが更新されます。

## ▼ CLI を使用した Ethernet ポートの有効化

CLI を使用してポート 1 を有効にする手順は、次のとおりです。

1. ILOM CLI にログインします。

2. 次のように入力します。

```
-> cd /CMM/network
```

3. show コマンドを入力して switchconf 変数の設定を表示します。

例:

```
-> show
/CMM/network
  Targets:

  Properties:
    commitpending = (Cannot show property)
    ipaddress = 10.6.153.71
    ipdiscovery = dhcp
    ipgateway = 10.6.152.1
    ipnetmask = 255.255.252.0
    macaddress = 00:14:4F:6B:6F:C1
    pendingipaddress = 10.6.153.71
    pendingipdiscovery = dhcp
    pendingipgateway = 10.6.152.1
    pendingipnetmask = 255.255.252.0
    switchconf = port0

  Commands:
    cd
    set
    show
```

この例では、switchconf 変数はポート 0 に設定されています。

- ポート 1 を有効にし、ポート 0 を無効にするためには、**set switchconf=port1** と入力します。
- ポート 1 を有効にし、ポート 0 も有効にしたままにするためには、**set switchconf=trunk** と入力します。

4. CMM を取り外し、シャーシに再度取り付けます。

シャーシの CMM の取り外しおよび再装着の手順については、シャーシのサービスマニュアルを参照してください。

これで、有効なポートが NET MGT ポート 1 または両方の NET MGT ポートになります。

## ブレード SP CLI プロンプトの変更

CMM ソフトウェア 3.2 (ILOM 3.0.10) 以降、CMM を使用してサーバーブレード SP のデフォルトの CLI プロンプトを変更することができるようになりました。このプロンプトが使用されるのは、次のコマンドを実行して CMM からサーバーブレード SP に移動した場合です。

```
-> start /CH/BLn/SP/cli
```

-> プロンプトの代わりに、次のいずれかのデフォルトプロンプトが表示されます。

- [BLn/SP] -> (単一ノードのブレードの場合)
- [BLn/NODEn/SP] -> (複数ノードのブレードの場合)

---

注 – ノードとは、サーバーブレード上に存在する独立したコンピュータです。Sun Blade X6275 サーバーモジュールは、ブレードごとに 2 個のノードがあるブレードの例です。

---

この機能を使用するためには、サーバーブレード SP で ILOM 3.0.9 以降が実行されている必要があります。

ここで説明する手順の具体的な内容は次のとおりです。

- [22 ページの「ブレード SP CLI プロンプトの設定」](#)
- [23 ページの「ブレード SP CLI プロンプトのデフォルトへのリセット」](#)

## ▼ ブレード SP CLI プロンプトの設定

1. ILOM CLI にログインします。
2. 次のいずれかのコマンドを使用して、サーバーブレードのデフォルトの CLI プロンプトを変更します。
  - 単一ノードのブレードの場合: **set /CH/BLn/SP/cli prompt="newprompt"**
  - ノードが 2 個のブレードの場合: **set /CH/BLn/NODEn/SP/cli prompt="newprompt"**

ここでは、*newprompt* は新しいプロンプトに設定する値です。

たとえば、ブレード SP プロンプトを「blade SP」に設定する場合、BL0 では次のコマンドを実行します。

```
-> set /CH/BL0/SP/cli prompt="blade SP"
```



## ▼ ブレード SP CLI プロンプトのデフォルトへのリセット

- ブレード SP の CLI プロンプトをデフォルト以外に変更した場合、デフォルトのプロンプトに戻すには、次のコマンドを実行します。

```
-> set /CH/BLn/SP/cli prompt=""
```



## 第3章

# ファームウェアの更新手順

この章には、次の表で示されているように、システムファームウェアの更新についての情報が含まれています。

説明	リンク
CMM ILOM ファームウェアを更新する	• <a href="#">25 ページの「CMM ILOM ファームウェアの更新」</a>
NEM ファームウェアを更新する	• <a href="#">33 ページの「NEM のファームウェアの更新」</a>
シャーシのコンポーネントのファームウェアを更新する	• <a href="#">39 ページの「CMM を使用したシャーシコンポーネントのファームウェアの更新」</a>
CMM をリセットする	• <a href="#">39 ページの「CMM を使用したシャーシコンポーネントのファームウェアの更新」</a>

## CMM ILOM ファームウェアの更新

この情報は、次の ILOM 3.0 の各種マニュアルで詳しく説明されています。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr30#hic>

順番に、次の節を参照してください。

1. CMM の IP アドレスを取得します。 [26 ページの「CMM の IP アドレスの取得」](#) を参照してください。
2. CMM にログオンして、使用しているファームウェアのバージョンを確認します。 [26 ページの「現在のファームウェアバージョンの確認」](#) を参照してください。
3. ILOM を使用して、新しいバージョンのファームウェアをダウンロードします。 [29 ページの「ファームウェアのファイルのダウンロード」](#) を参照してください。

4. ILOM を使用して、新しいファームウェアをインストールします。30 ページの「ILOM ファームウェアの更新」を参照してください。
5. CMM をリセットします。39 ページの「CMM を使用したシャーシコンポーネントのファームウェアの更新」を参照してください。

---

注 – ILOM の設定をバックアップおよび復元する方法については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Web Interface 手順ガイド』または『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 CLI 手順ガイド』を参照してください。

---

## CMM の IP アドレスの取得

CMM ILOM にアクセスするには、CMM の IP アドレスを使用する必要があります。CMM の IP アドレスがわからない場合は、確認する必要があります。

CMM の IP アドレスを確認する手順については、6 ページの「CMM ILOM への接続」を参照してください。

## 現在のファームウェアバージョンの確認

この節では、現在のファームウェアのバージョンを確認する 3 つの手順を説明します。

- 27 ページの「Web インタフェースを使用してファームウェアのバージョンを確認する」
- 28 ページの「管理 Ethernet ポートの CLI を使用してファームウェアのバージョンを確認する」
- 29 ページの「シリアル管理ポートの CLI を使用してファームウェアのバージョンを確認する」

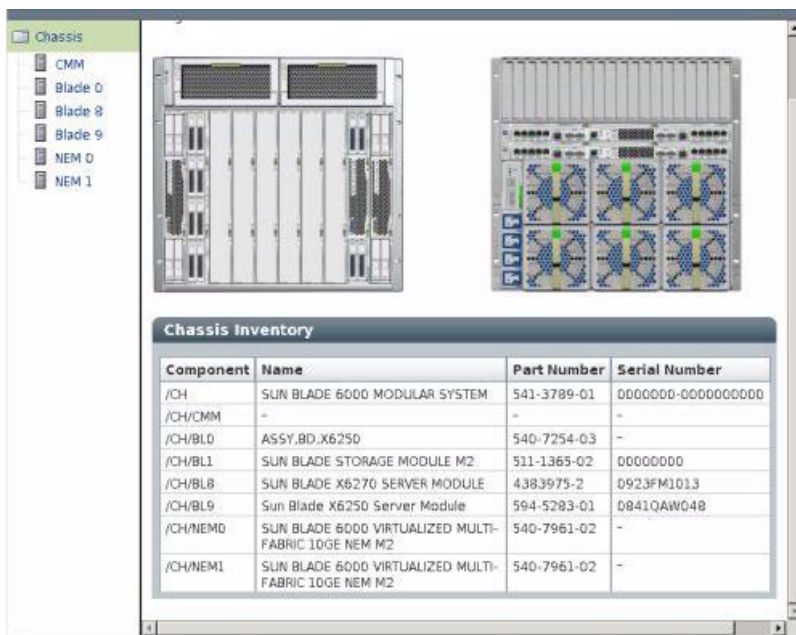
## ▼ Web インタフェースを使用してファームウェアのバージョンを確認する

1. ブラウザのアドレスフィールドにサーバーの CMM の IP アドレスを入力して、ILOM Web インタフェースに接続します。

例:

**https://129.146.53.150**

2. ILOM Web インタフェースにログインします。



The screenshot displays the ILOM Web Interface. On the left, a navigation pane shows a tree structure under 'Chassis' with items: CMM, Blade 0, Blade 8, Blade 9, NEM 0, and NEM 1. The main area features two server rack images. Below them is a 'Chassis Inventory' table with the following data:

Component	Name	Part Number	Serial Number
/CH	SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM	541-3789-01	0000000-0000000000
/CH/CMM	-	-	-
/CH/BL0	ASSY.BD.X6250	540-7254-03	-
/CH/BL1	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	511-1365-02	00000000
/CH/BL8	SUN BLADE X6270 SERVER MODULE	4383975-2	0923FM1013
/CH/BL9	Sun Blade X6250 Server Module	594-5283-01	0841QAW048
/CH/NEM0	SUN BLADE 6000 VIRTUALIZED MULTI-FABRIC 10GE NEM M2	540-7961-02	-
/CH/NEM1	SUN BLADE 6000 VIRTUALIZED MULTI-FABRIC 10GE NEM M2	540-7961-02	-

3. シャーシのナビゲーション区画の左角で「CMM」をクリックします。
4. 「System Information」 --> 「Versions」の順にクリックします。  
「Versions」ページが表示されます。それにはファームウェアのバージョンとビルド番号が含まれています。



## ▼ 管理 Ethernet ポートの CLI を使用してファームウェアのバージョンを確認する

この手順の詳細については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 入門ガイド』を参照してください。

1. ILOM CLI にログインします。
2. `version` コマンドを入力します。入力すると、次のような出力が返されます。

`-> version`

```
CMM firmware 3.0.10.15
CMM firmware build number: 55335
CMM firmware date: Thu Apr 22 19:41:07 EDT 2010
CMM filesystem version: 0.1.22
```

ILOM (CMM) ファームウェアのバージョンとビルド番号が出力に一覧表示されます。

## ▼ シリアル管理ポートの CLI を使用してファームウェアのバージョンを確認する

1. 端末デバイス、またはラップトップか PC で稼働しているターミナルエミュレーションソフトウェアを次のように設定します。
  - 8N1: データビット 8、パリティなし、ストップビット 1
  - 9600 ボー
  - ハードウェアのフローコントロール無効 (CTS/RTS)
  - ソフトウェアのフローコントロール無効 (XON/XOFF)
2. CMM の RJ-45 SER MGT ポートに取り付けられたシリアルケーブルを、端末デバイスまたは PC に接続します。
3. 端末デバイス上で Enter を押して、端末デバイスと CMM 間の接続を確立します。CMM にログインプロンプトが表示されます。

```
<hostname> login:
```

*hostname* は、SUNCMCMM の後に製品のシリアル番号が続く場合、もしくは DHCP でホスト名を有効にしている場合は、割り当て済みのホスト名となります。
4. ILOM CMM にログインして、デフォルトのユーザー名 (*root*) とデフォルトのパスワード (*changeme*) を入力します。

ログインに成功すると、CMM に次のデフォルトのコマンドプロンプトが表示されます。

```
->
```
5. `version` コマンドを入力します。入力すると、次のような出力が返されます。

```
-> version  
CMM firmware version: 3.0.3.32  
CMM firmware build number: 42331  
CMM firmware date: Wed Feb 18 11:46:55 PST 2009  
CMM filesystem version: 0.1.22
```

ILOM ファームウェアのバージョンとビルド番号が出力に一覧表示されます。

## ファームウェアのファイルのダウンロード

次の手順では、ILOM ファームウェアを Web サイトからダウンロードする方法を説明します。

## ▼ ファームウェアのファイルのダウンロード

次の手順に従って、フラッシュイメージの .ima ファイルをダウンロードします。

1. Oracle Web サイト (<http://www.oracle.com/jp/products/servers-storage/servers/blades/index.html>) を参照します。
2. Sun Blade 6000 モジュラーシステムまたは Sun Blade 6048 モジュラーシステムのページに移動します。
3. ダウンロードするファームウェアのバージョンのダウンロードリンクをクリックします。
4. ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名とパスワードを持っていない場合、「Register Now」をクリックすることで、無料でユーザー登録ができます。
5. 「Accept License Agreement (使用許諾契約書に同意する)」をクリックします。
6. 適切なファームウェアのイメージファイル名をクリックします。

`ILOM-version-Sun_Blade_6000.ima`

または

`ILOM-version-Sun_Blade_6048.ima`

例:

`ILOM-3_0_10_15-Sun_Blade_6048.ima`

または

`ILOM-3_0_10_15-Sun_Blade_6000.ima`

## ILOM ファームウェアの更新



---

**注意** – ILOM は、特別なモードに入って、新しいファームウェアをロードします。ILOM では、ファームウェアのアップグレードが完了して ILOM がリセットされるまで、他のタスクを実行できません。

---

これは、既存のイメージを、事前にダウンロードした .ima ファイルの新しいイメージで置き換えて、実際にファームウェアを更新する手順です。

この節では、ILOM/BIOS ファームウェアを更新する次の 2 つの方法について説明します。

- [31 ページの「Web インタフェースを使用して ILOM ファームウェアを更新する」](#)
- [32 ページの「CLI を使用して ILOM ファームウェアを更新する」](#)



## ▼ Web インタフェースを使用して ILOM ファームウェアを更新する

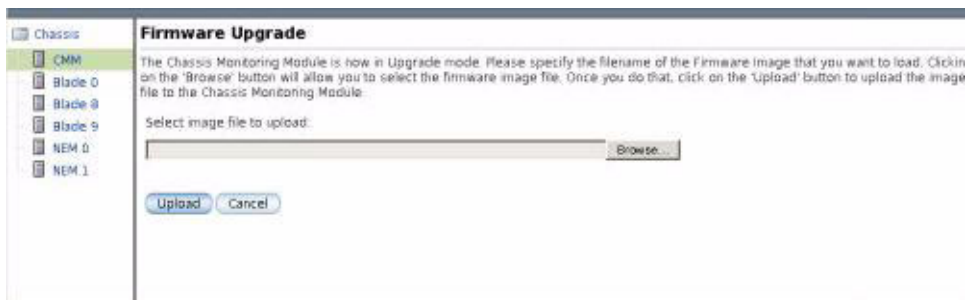
1. ILOM Web インタフェースにログインします。
2. 「Maintenance」 --> 「Firmware Upgrade」の順にクリックします。



3. 「Enter Upgrade Mode (アップグレードモードに切り替え)」ボタンをクリックします。

「Upgrade Verification」ダイアログが表示され、更新プロセスが完了するとログインしているほかのユーザーのセッションが切断されることが通知されます。

4. 「Upgrade Verification」ダイアログで、「OK」をクリックして続行します。  
「Firmware Upgrade」ページが表示されます。



5. フラッシュイメージファイルを参照します。
6. 「Upload」ボタンをクリックします。  
ファイルがアップロードされ検証されるまで待ちます。  
「Firmware Verification」ページが表示されます。
7. (省略可能) 「Firmware Verification」ページで、「Preserve Configuration」を有効にします。

ILOM の既存の設定を保存し更新プロセスの完了後に復元する場合は、このオプションを有効にします。

8. 「Start Upgrade」をクリックしてアップグレードプロセスを開始するか、「Exit」をクリックしてプロセスを取り消します。  
「Start Upgrade」をクリックすると、アップグレードプロセスが開始され、プロセスの続行を確認するプロンプトが表示されます。
9. プロンプトで「OK」をクリックして続行します。  
「Update Status」ページが表示され、更新処理の進捗状況が表示されます。更新の進捗状況が 100% を示すと、ファームウェアの更新は完了です。  
更新が完了すると、システムが自動的に再起動します。

---

注 – 更新の完了後、ILOM の Web インタフェースが正しく再表示されないことがあります。ILOM Web インタフェースで情報が欠落している場合やエラーメッセージが表示される場合は、更新前のバージョンから、そのページのキャッシュされているバージョンを表示している必要があります。ブラウザのキャッシュをクリアしてブラウザを再表示してから、続行してください。

---

10. CMM ILOM Web インタフェースに再接続します。
11. 「System Information」 --> 「Version」を選択して、CMM のファームウェアのバージョンが、インストールしたファームウェアイメージのバージョンと一致することを確認します。

---

注 – ファームウェアの更新前に ILOM 設定を保存しなかった場合、初期 ILOM セットアップ手順を実行して ILOM に再接続する必要があります。

---

## ▼ CLI を使用して ILOM ファームウェアを更新する

1. 管理 Ethernet ポートまたはシリアル管理ポートから ILOM CLI にログインします。  
管理 Ethernet ポートについて: 28 ページの「[管理 Ethernet ポートの CLI を使用してファームウェアのバージョンを確認する](#)」を参照してください。  
シリアル管理ポートについて: 29 ページの「[シリアル管理ポートの CLI を使用してファームウェアのバージョンを確認する](#)」を参照してください。
2. ILOM CLI で、次のコマンドを使用します。  
-> **load -source tftp://tftpserver/ILOM-version-Sun\_Blade\_60x0.ima**  
ここでは、*tftpserver* は更新がある簡易ファイル転送プロトコル (TFTP) サーバーで、*ILOM-version-Sun\_Blade\_60x0.ima* はファームウェアのイメージファイルです。次に例を示します。  
**Sun Blade 6000 の場合:** ILOM-3\_0\_10\_15-Sun\_Blade\_6000.ima  
または  
**Sun Blade 6048 の場合:** ILOM-3\_0\_10\_15-Sun\_Blade\_6048.ima

---

# NEM のファームウェアの更新

ILOM 3.0.9 以降、一部の Oracle モジュラーシャーシシステムで ILOM のファームウェアの機能が拡張され、Network Express Module (NEM) のファームウェアの更新がサポートされています。3.0.9 以前は、ILOM から NEM のファームウェアを更新することはサポートされていませんでした。

NEM のファームウェアの更新は、ILOM CLI または Web インタフェースで直接行うことができます。ファームウェアパッケージを NEM にアップロードするためにサポートされているファイル転送方式は次のとおりです。

- TFTP
- FTP
- SCP
- HTTP
- HTTPS
- SFTP
- Browser\*

---

注 - \* Browser でのローカルファイル転送は ILOM Web インタフェースでのみ使用できます。

---

ILOM の Web インタフェースまたは CLI から NEM のファームウェアを更新する方法の詳細については、次の項目を参照してください。

- [33 ページの「インストールを開始する前に」](#)
- [34 ページの「CLI を使用して NEM のファームウェアを更新する」](#)
- [37 ページの「Web インタフェースを使用して NEM のファームウェアを更新する」](#)

## インストールを開始する前に

- NEM のベンダー製品のダウンロード Web サイトから、ILOM からアクセスできるネットワーク上のシステムに、NEM のファームウェアの更新パッケージをダウンロードします。
- NEM のファームウェアを ILOM で更新するためには、Admin (a) の役割を有効にする必要があります。

## ▼ CLI を使用して NEM のファームウェアを更新する

1. ILOM CMM CLI にログインします。
2. cd コマンドを使用して、ファームウェアの更新が必要な NEM に移動します。

例:

```
cd /SYS/NEM#
```

ここでは、# はシャーシ内で NEM が設置されている、スロットの場所です。

シャーシシステムが複数の NEM をサポートしておらず、サポートされている NEM が 1 台である場合、NEM の場所は 0 と等しいはずですが、この場合は、次のように入力します。

```
cd /SYS/NEM0
```

3. show コマンドを入力して、NEM のプロパティと、NEM に現在インストールされているファームウェアのバージョンを表示します。

たとえば、次の Sun Fire 4800 システムについての NEM の show プロパティ出力を参照してください。

---

**注** – プロパティフィールド fru\_extra\_1= は NEM に現在インストールされているファームウェアのバージョンを示しています。

---

```
-> cd /SYS/NEM0
/SYS/NEM0

-> show

/SYS/NEM0
Targets:
    PRSNT
    STATE
    ERR
    OK
    SERVICE
    OK2RM
    LOCATE

Properties:
    type = Network Express Module
    ipmi_name = NEM0
    fru_manufacturer = VENDOR_Name
    fru_part_number = 511-1056-04
    fru_extra_1 = FW 5.3.1.0
    fault_state = OK
    load_uri = (none)
    clear_fault_action = (none)
    power_state = On

Commands:
    cd
    load
    reset
    set
    show
    start
    stop
```

4. load コマンドを使用して、NEM でファームウェア更新パッケージのアップロードとインストールを行います。

たとえば、次のように入力します。

```
load_uri=uri
```

ここでは、*uri* は URI の転送方式とファームウェアパッケージの場所です。

次の、サポートされる各ファイル転送方式の CLI load コマンドの例を参照してください。

転送方法	CLI の load コマンドの例
TFTP	<b>load_uri=tftp://ip_address/rom_nem.pkg</b>
FTP	<b>load_uri=ftp://username:password@ip_address/rom_nem.pkg</b>
SCP	<b>load_uri=scp://username:password@ip_address/rom_nem.pkg</b>
HTTP	<b>load_uri=http://username:password@ip_address/rom_nem.pkg</b>
HTTPS	<b>load_uri=https://username:password@ip_address/rom_nem.pkg</b>
SFTP	<b>load_uri=sftp://username:password@ip_address/rom_nem.pkg</b>

各表記の意味は次のとおりです。

- *ip\_address* は、ファイルが格納されているシステムの IP アドレスです。
- *username* は、ファイルが格納されているシステムのログインユーザ名です。
- *password* は、ファイルが格納されているシステムのログインパスワードです。
- *rom\_nem.pkg* は、ファームウェアの更新パッケージの名前です。

HTTP と HTTPS については、ユーザー名とパスワードが省略可能です。

---

注 – このほかに、ILOM CLI で `set` および `load` コマンドを使用して、NEM の場所のパスと、アップロードするファームウェアの更新パッケージの場所を指定することもできます。例: `set /SYS/NEM#/load_uri=uri`

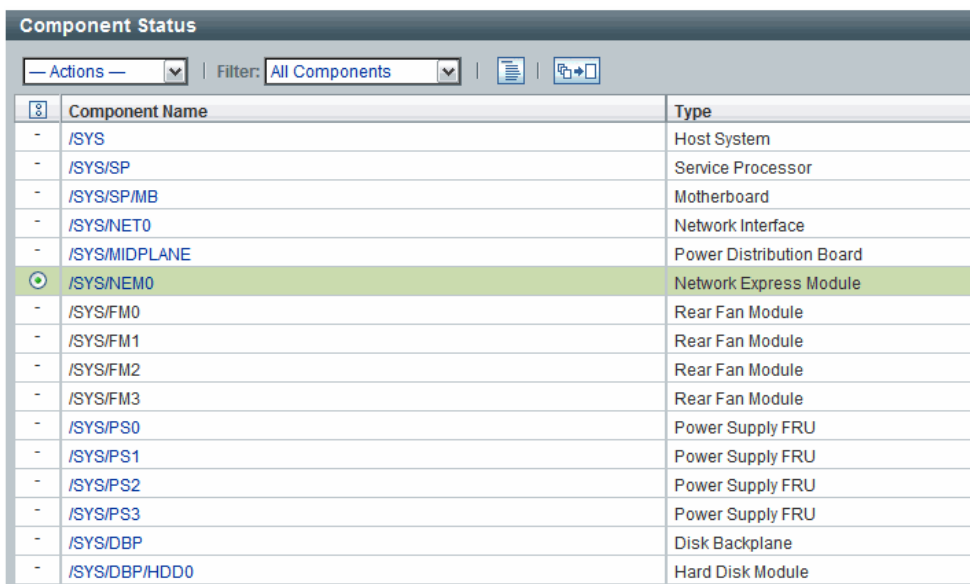
---

5. ファームウェアの更新処理が完了したことが ILOM で確認されるまで少し待ちます。  
成功または失敗を示す状態が表示されます。
6. `show` コマンドを使用して、NEM にインストールされているファームウェアのバージョンを表示して確認します。

## ▼ Web インタフェースを使用して NEM のファームウェアを更新する

1. ILOM CMM の Web インタフェースにログインします。
2. ILOM の Web インタフェースで、「System Information」 --> 「Components」タブの順にクリックします。

「Components」 ページが表示されます。



Component Name	Type
/SYS	Host System
/SYS/SP	Service Processor
/SYS/SP/MB	Motherboard
/SYS/NET0	Network Interface
/SYS/MIDPLANE	Power Distribution Board
/SYS/NEM0	Network Express Module
/SYS/FM0	Rear Fan Module
/SYS/FM1	Rear Fan Module
/SYS/FM2	Rear Fan Module
/SYS/FM3	Rear Fan Module
/SYS/PS0	Power Supply FRU
/SYS/PS1	Power Supply FRU
/SYS/PS2	Power Supply FRU
/SYS/PS3	Power Supply FRU
/SYS/DBP	Disk Backplane
/SYS/DBP/HDD0	Hard Disk Module

3. 「Component Status」表で、次の手順を行います。
  - a. 更新する NEM のラジオボタンを選択します。
  - b. 「Component Name」列に表示されている NEM の名前をクリックして、NEM に現在インストールされているファームウェアのバージョンを表示し、「Close」をクリックしてダイアログを閉じます。
  - c. 「Actions」ドロップダウンリストボックスで、「Update Firmware」を選択して NEM のファームウェアの更新処理を開始します。  
「Upload Firmware」ダイアログが表示されます。

To update this component select the desired Transfer Protocol and fill in the appropriate fields.

Component: /SYS/NEMO

Current Version: (unknown)

Upload

Transfer Method:

Select File:

4. 「Upload Firmware」ダイアログで、次の手順を行います。
  - a. 「Upload」の「Transfer Method」をドロップダウンリストボックスで選択します。
  - b. 選択した転送方式の必須フィールドに対して、次のように指定します。

転送方式のオプション	必須フィールド	指示書
Browser	Select File	「Browse」ボタンを使用して、NEM のファームウェアの更新パッケージの場所を指定します。
FTP、SCP、HTTP、HTTPS、TFTP、SFTP	Host	NEM のファームウェアの更新パッケージが格納されているホストシステムの IP アドレスを指定します。



転送方式のオプション	必須フィールド	指示書
FTP、SCP、HTTP、 HTTPS、TFTP、SFTP	Filepath	NEM のファームウェアの更新 パッケージが格納されている場所 への絶対パスを指定します。
FTP、SCP、HTTP、 HTTPS、SFTP	Username	NEM のファームウェアの更新 パッケージが格納されているシス テムのログインユーザー名を指定 します。
FTP、SCP、HTTP、 HTTPS、SFTP	Password	NEM のファームウェアの更新 パッケージが格納されているシス テムのログインパスワードを指定 します。

5. ファームウェアの更新処理が完了したことが ILOM で確認されるまで少し待ちます。

成功または失敗を示す状態が「Upload Firmware」ダイアログに表示されます。

## CMM を使用したシャーシコンポーネントのファームウェアの更新

ILOM 3.0.10 以降、CMM ILOM には、次のシャーシコンポーネントでインストールされているファームウェアのバージョンを表示したり、ファームウェアの更新を開始したりするための一元化されたユーザーインターフェースが用意されています。

- ストレージブレード
- CPU ブレード
- Network Express Module (NEM): すべての NEM にファームウェアがあるわけではありません。NEM のドキュメントで、NEM にファームウェアがあるかどうかを確認してください。NEM のファームウェアを更新する詳しい手順については、[33 ページの「NEM のファームウェアの更新」](#)を参照してください。


このファームウェア更新ツールを使用するには、事前に、Sun Blade 6000 モジュラーシステムソフトウェアのリリース 3.2 とともに Oracle のダウンロードサイトで入手可能である、CMM ILOM バージョン 3.0.10 を CMM にインストールする必要があります。サーバーモジュール (ブレード) では、ILOM 2.x またそれ以降が実行されている必要があります。

次の 2 つの方法で、ILOM ファームウェアを更新できます。

- [40 ページの「Web インタフェースを使用してファームウェアを更新する」](#)
- [42 ページの「CLI を使用してファームウェアを更新する」](#)

## ▼ Web インタフェースを使用して ファームウェアを更新する

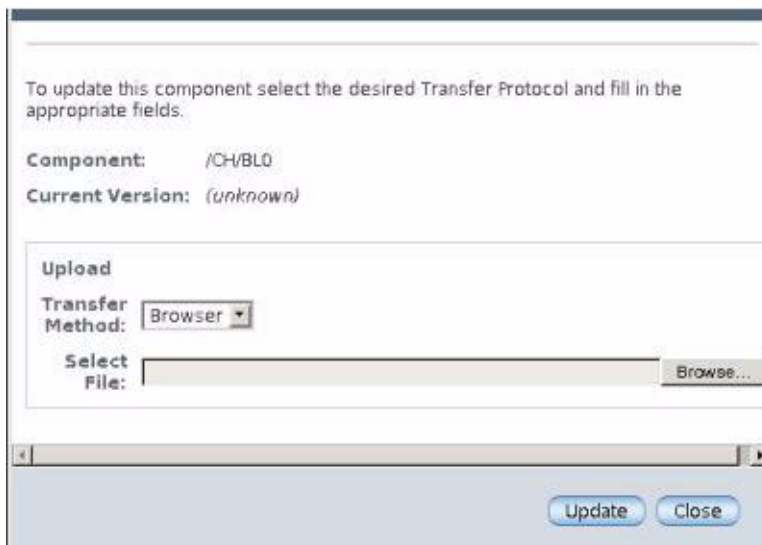
1. 必要なファームウェアを Oracle のソフトウェアダウンロードサイト (<http://www.oracle.com/jp/products/servers-storage/servers/ blades/index.html>) からダウンロードします。
  - a. 更新するブレードまたは NEM のページを検索します。
  - b. 最新のファームウェアパッケージをダウンロードし、それをネットワークでアクセス可能なフォルダに展開します。
2. 管理者権限を持つ任意のユーザーで CMM ILOM にログインします。
3. 「Chassis」ナビゲーション区画で、「CMM」をクリックします。
4. 「System Information」 --> 「Components」を選択します。
5. ファームウェアを更新するコンポーネントを選択します。  
(/CH/BL0 など)。



The screenshot shows the Oracle ILOM CMM web interface. The left sidebar contains a navigation tree with 'Chassis' expanded and 'CMM' selected. The main content area has a top navigation bar with tabs for 'System Information', 'System Monitoring', 'Power Management', 'Storage', 'Configuration', 'User Management', 'Remote Control', and 'Maintenance'. Below this is a sub-navigation bar with 'Overview', 'Components', 'Fault Management', 'Identification Information', 'Banner Messages', 'Session Timeout', and 'Versions'. The 'Component Management' section includes a descriptive paragraph and a 'Component Status' table.

Component Name	Type	Fault Status	Ready to Remove Status
/CH	Chassis	OK	-
/CH/CMM	Chassis Monitoring Module	-	-
/CH/CMM/SP	Service Processor	-	-
/CH/CMM/NET0	Network Interface	-	-
/CH/MDPLANE	Power Distribution Board	-	-
/CH/BL0	Blade FRU	OK	-
/CH/BL1	Blade FRU	Faulted	-

6. 「Actions」ドロップダウンメニューから「Update Firmware」を選択します。  
ダイアログボックスが表示されます。



7. 使用する転送方式を「Transfer Method」フィールドから選択します。  
8. 選択した転送方式の必須フィールドに入力します。

転送方式のオプション	必須フィールド	指示書
Browser	Select File	「Browse」ボタンを使用して、NEM のファームウェアの更新パッケージの場所を指定します。
FTP、SCP、HTTP、HTTPS、TFTP、SFTP	Host	NEM のファームウェアの更新パッケージが格納されているホストシステムの IP アドレスを指定します。
FTP、SCP、HTTP、HTTPS、TFTP、SFTP	Filepath	NEM のファームウェア更新パッケージが格納されている場所の絶対パスを指定します。
FTP、SCP、HTTP、HTTPS、SFTP	Username	NEM のファームウェアの更新パッケージが格納されているシステムのログインユーザー名を指定します。
FTP、SCP、HTTP、HTTPS、SFTP	Password	NEM のファームウェアの更新パッケージが格納されているシステムのログインパスワードを指定します。

9. 「Update (アップデート)」をクリックします。

ファームウェアの更新処理は数分かかる可能性があります。成功または失敗を示す状態が「Upload Firmware」ダイアログに表示されます。

## ▼ CLI を使用してファームウェアを更新する

1. 必要なファームウェアを Oracle のソフトウェアダウンロードサイト (<http://www.oracle.com/jp/products/servers-storage/servers/blades/index.html>) からダウンロードします。
2. 更新するブレードまたは NEM のページを検索します。
3. 最新のファームウェアパッケージをダウンロードし、それをネットワークでアクセス可能なフォルダに展開します。
4. ネットワークに接続した端末から、次のコマンドを入力して root ユーザーアカウントを使用し、CMM ILOM の CLI にログインします。

```
$ ssh root@cmm_ipaddress
```

ここでは、*cmm\_ipaddress* は CMM ILOM の IP アドレスです。

5. パスワードを入力します。デフォルトでは changeme です。  
ILOM CLI のプロンプトが表示されます。  
->
6. アップグレードするブレードまたは NEM が含まれているブレードスロットにディレクトリを変更します。  
-> **cd /CH/BL*n***  
または  
-> **cd /CH/NEM*n***  
ここでは、*BLn* はアップグレードするブレードのシャーシブレードスロットの番号であり、*NEMn* はアップグレードする NEM です。
7. 以下のコマンドを入力します。

```
-> load -source transfer_method://transfer_server_ipaddress/firmware-version.pkg
```

各エントリの内容は次のとおりです。

- *transfer\_method* は、次のいずれかです。FTP、SCP、HTTP、HTTPS、TFTP、SFTP。
- *transfer\_server\_ipaddress* は、イメージファイルをコピーした転送サーバーのドメイン名または IP アドレスです。
- *firmware-version* は、.pkg ファイルの名前です。

8. 処理が完了したら、正しいバージョンのファームウェアがインストールされたことを確認します。以下のコマンドを入力します。

```
-> version /CH/BL $n$ 
```

または

```
-> version /CH/NEM $n$ 
```

ここでは、BL $n$  はアップグレードしたブレードのシャーシスロットの番号であり、NEM $n$  はアップグレードした NEM です。

---

## CMM のリセット

この節のいずれの手順も使用できない場合は、CMM をシャーシから取り外し、再度取り付けて CMM をリセットすることができます。

CMM の取り外しおよび再度取り付ける方法については、『Sun Blade 6000 モジュラーシステムサービスマニュアル』または『Sun Blade 6048 モジュラーシステムサービスマニュアル』を参照してください。

この節では、次の手順について説明します。

- [43 ページの「Web インタフェースを使用して CMM をリセットする」](#)
- [44 ページの「CLI を使用して CMM をリセットする」](#)

### ▼ Web インタフェースを使用して CMM をリセットする

1. ILOM Web インタフェースにログインします。
2. 「Maintenance」 --> 「Reset Components」の順にクリックします。
3. 「/CH/CMM」を選択し、「Reset」をクリックします。



## ▼ CLI を使用して CMM をリセットする

1. ILOM CLI にログインします。
2. ILOM CLI で、次のコマンドを入力します。  
-> **reset /CMM**

## 第4章

# CMM の電力管理

---

この章には、Sun Blade 6000/Sun Blade 6048 の CMM および ILOM 3.x に固有の、ILOM の電力管理に関する情報が含まれています。

電力管理については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 概念ガイド』を参照してください。

この章には、次の表に示されている情報が含まれています。

説明	リンク
Light Load Efficiency Mode (LLEM) を有効または無効にする	• <a href="#">46 ページの「軽負荷効率モード (LLEM)」</a>
電源装置のファンを低速にする	• <a href="#">50 ページの「電源装置のファン速度を調整する」</a>
電力管理を無効にする	• <a href="#">51 ページの「電力管理ポリシーの無効化」</a>
Sun Blade 6048 モジュラーシステムの特定のケースにおける ILOM の読み取りについて学習する	• <a href="#">53 ページの「Sun Blade 6048 の特定のケースにおける ILOM 3.0」</a>

---

# 軽負荷効率モード (LLEM)

Light Load Efficiency Mode (LLEM) は CMM ILOM 3.0.6.11 の新機能です。

この節では次の内容について説明します。

- [46 ページの「LLEM について」](#)
- [46 ページの「Web インタフェースを使用した LLEM の設定」](#)
- [48 ページの「CLI を使用した LLEM の設定」](#)

## LLEM について

LLEM のもとでは、CMM が効率向上のため、使用する電力を監視し、自動的に電源ユニット (PSU) の各サイドをシャットダウンします。LLEM は、有効な場合は冗長モード、非冗長モードのどちらでも実行されます。

CMM は、常に降順で PSU サイドを無効にします。電力負荷レベルが高まると、CMM は、無効にしたサイドを再度有効にして需要に対応します。新たなブレードがシャーシに挿入された場合、電力割当量が、現在電力がオンになっているサイドから使用できる電力を超えているときでも、そのブレードの電力をオンにすることができます。

予期しない AC 障害が発生した場合は、LLEM が一時停止され、すべてのサイドが有効になります。これは、センサーの値 `I_V12` および `V_OUT_OK` によって確認できます。障害が解消すると、自動的に、設定されている LLEM ポリシーが再実行されます。

LLEM が無効になると、以前無効にしたものも含めて、すべての PSU サイドが有効になります。これは、センサーの値 `I_V12` および `V_OUT_OK` によって確認できます。

ILOM の電力管理機能については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 概念ガイド』を参照してください。

## Web インタフェースを使用した LLEM の設定

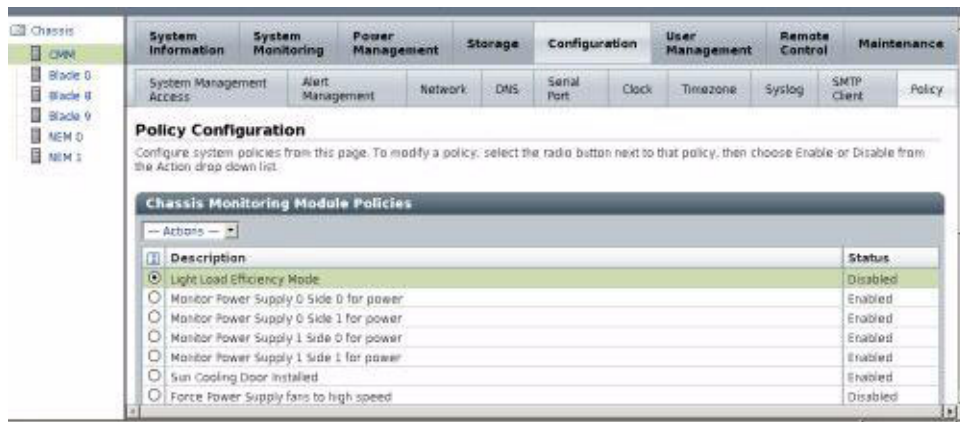
この節では、次の手順について説明します。

- [47 ページの「Web インタフェースを使用して LLEM を有効または無効にする」](#)
- [48 ページの「Web インタフェースを使用して冗長モードを有効または無効にする」](#)



## ▼ Web インタフェースを使用して LLEM を有効または無効にする

1. ILOM Web インタフェースにログインします。
2. 「Chassis」ナビゲーション区画の「CMM」をクリックします。
3. 「Configuration」-->「Policy」ページに移動します。



4. 「Light Load Efficiency Mode」を選択します。
5. 「Actions」ドロップダウンリストから「Enable」または「Disable」を選択します。
6. 「Policy」ページで電源装置をオン/オフにするには、次のようにします。
  - a. 「Monitor Power Supply  $x$  Side  $y$  for power」を選択します。  
次の例では、「Monitor Power Supply 0 Side 0」が選択されています。



- b. 「Actions」メニューから「Enable」または「Disable」を選択します。

## ▼ Web インタフェースを使用して冗長モードを有効または無効にする

1. ILOM Web インタフェースにログインします。
2. 「Chassis」ナビゲーション区画の「CMM」をクリックします。
3. 「Power Management」-->「Redundancy」ページに移動します。



4. ドロップダウンメニューから次のいずれかを選択します。
  - 「None」：非冗長モードを設定する場合。
  - 「N+N」：冗長モードを設定する場合。
5. 「Save (保存)」をクリックします。

## CLI を使用した LLEM の設定

この節では、次の手順について説明します。

- 49 ページの「CLI を使用して LLEM を有効または無効にする」
- 49 ページの「CLI を使用して冗長モードを有効にする」
- 49 ページの「CLI を使用して非冗長モードを有効にする」

## ▼ CLI を使用して LLEM を有効または無効にする

1. CMM ILOM CLI にログインします。
2. LLEM を有効または無効にするには、次のコマンドを使用します。  
-> **set /CMM/policy LIGHT\_LOAD\_EFFICIENCY\_MODE=[enabled|disabled]**
3. LLEM が無効になっている場合は、次のコマンドで PSU サイドをオン/オフにすることができます。  
-> **set /CMM/policy MONITOR\_PSn\_SIDE#=[enabled|disabled]**

---

注 – 電源コードを抜く前に、PSU サイドをすべて無効にすることをお勧めします。

---

センサーの値 /CH/PSn/Sn/I\_12V または /CH/PSn/Sn/V\_OUT\_OK をチェックできます。このとき、I\_12V の値が 0、または V\_OUT\_OK が非アサートの場合は、対応するサイドが無効になっています。

任意の PSU サイドの監視を無効にできます。冗長モード、非冗長モードのどちらでも、LLEM は、監視対象となっているサイドに対して機能します。

## ▼ CLI を使用して冗長モードを有効にする

1. CMM ILOM CLI にログインします。
2. 次のコマンドを使用して、冗長モードを設定します。  
-> **set /CMM/powermgmt redundancy=n+n**  
MONITOR\_PSn\_SIDE# がすべて有効に設定され、PSU サイドの監視を無効にしようとしても許可されません。

## ▼ CLI を使用して非冗長モードを有効にする

1. CMM ILOM CLI にログインします。
2. 次のコマンドを使用して、非冗長モードを設定します。  
-> **set /CMM/powermgmt redundancy=none**

## 電源装置のファン速度を調整する

ILOM 3.0.6.11 の新機能によって、電源装置のファン速度の調整が可能になりました。

高速設定および低速設定は次のように定義されます。

- 高速とは、100% の許容速度でファンが回転している状態です。
- 低速とは、許容速度の 80% でファンが回転している状態です。

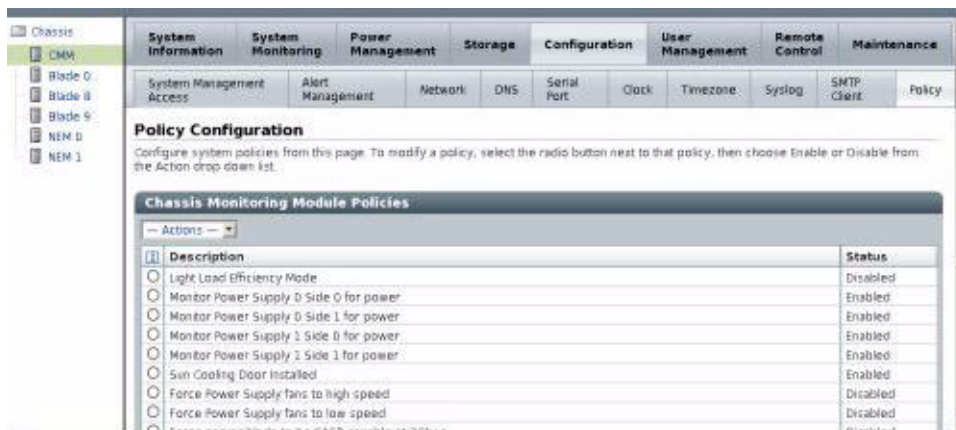
注 – 使用されている PEM スロットが半分以下の場合のみ、電源ユニット (PSU) のファンを低速にします。

この節では、次の項目について説明します。

- [50 ページの「Web インタフェースを使用して電源装置のファン速度を設定する」](#)
- [51 ページの「CLI を使用して電源装置のファン速度を設定する」](#)

### ▼ Web インタフェースを使用して電源装置のファン速度を設定する

1. ILOM Web インタフェースにログインします。
2. 「Chassis」ナビゲーション区画の「CMM」をクリックします。
3. 「Configuration」 --> 「Policy」に移動します。



4. 次のいずれかのオプションを選択します。
  - 「Force Power Supply fans to low speed」
  - 「Force Power Supply fans to high speed」
5. 「Actions」 ドロップダウンメニューから「Enable」または「Disable」を選択します。

電源装置のファンが電源装置を冷却する際、電源装置のファンは PEM スロットも冷却します。

---

注 – 両方のファン速度のポリシーを有効にした場合は、高速のポリシーが優先されます。

---

## ▼ CLI を使用して電源装置のファン速度を設定する

1. ILOM CLI インタフェースにログインします。
2. 次のコマンドを実行します。

```
-> set /CMM/policy PS_FANS_HIGH=[enabled|disabled]
-> set /CMM/policy PS_FANS_LOW=[enabled|disabled]
```

電源装置のファンが電源装置を冷却する際、電源装置のファンは PEM スロットも冷却します。

---

注 – 両方のファン速度のポリシーを有効にした場合は、高速のポリシーが優先されます。

---

---

## 電力管理ポリシーの無効化

CMM ILOM 3.0.6.11c (ソフトウェアバージョン 3.1.13) では、電力管理の新たなオプションが追加されています。このオプションによって、ユーザーは電力管理を無効にでき、電力割当量を超えている場合でも、シャーシ内のブレードに電力が投入されるようにすることができます。



---

注意 – シャーシがシャットダウンする可能性があります。Oracle のサービス担当者に指示された場合を除いて、電力管理を無効にしないでください。

---

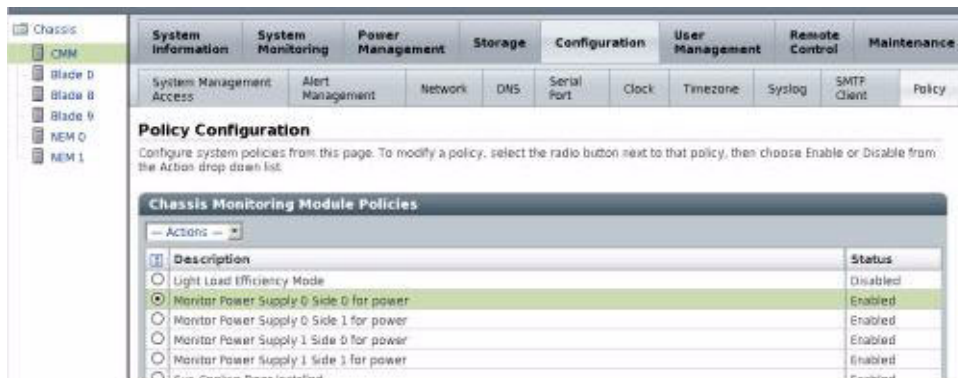
Oracle のサービス担当者の指示に従って電力管理を無効にする場合は、次のいずれかの手順を使用します。

- 4-52 ページの「Web インタフェースを使用して電力管理ポリシーを無効にする」
- 4-53 ページの「CLI を使用して電力管理ポリシーを無効にする」

## ▼ Web インタフェースを使用して電力管理ポリシーを無効にする

1. ILOM Web インタフェースにログインします。
2. 「Chassis」ナビゲーション区画から「CMM」を選択します。
3. 「Configuration」-->「Policy」に移動します。
4. 「Manage Chassis Power」を選択します。
5. 「Actions」ドロップダウンリストから「Disable」を選択します。

次の ILOM のグラフィック画面は、「Policy Configuration」ページの下部にある「Manage Chassis Power」オプションを示しています。



## ▼ CLI を使用して電力管理ポリシーを無効にする

1. CMM ILOM CLI にログインします。

2. 次のコマンドを入力します。

```
-> set /CMM/policy POWER_MANAGEMENT=disabled
```

---

## Sun Blade 6048 の特定の場合における ILOM 3.0

この節で示す電源装置の構成は、Sun Blade 6048 モジュラーシステムにのみ適用されます。

この節では、次の項目について説明します。

- [53 ページの「2本の電源コード構成の場合の ILOM の動作」](#)
- [55 ページの「電源装置の特定の状態における ILOM の表示」](#)

### 2本の電源コード構成の場合の ILOM の動作

この節では、3つの電源プラグのうち2つだけが A231 電源ユニット (PSU) に接続されている場合の、CMM およびサーバーモジュールファームウェアの動作を説明します。

各 A231 PSU の背面には3つのプラグがあります。これらのプラグは AC0、AC1、AC2 という名前が付けられています。各プラグに 220V の電源コードを接続できます。使用可能な3つのプラグのうち2つだけが A231 PSU に接続されている場合、シャーシ全体に 5600 ワットの電力が供給されます。

3つあるプラグのうち2つだけを接続する場合、AC0 と AC1 に接続します。AC2 には接続しないようにしてください。

Sun Blade 6048 モジュラーシステムのセンサーについては、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 補足 – Sun Blade 6000/Sun Blade 6048 モジュラーシステム』(820-7603) を参照してください。

## ▼ 2本の電源コード用の CMM を設定する

1. 電源コードが2本の構成の設定を行うには、CMM ILOM で次のコマンドを使用して、電源装置サイドを無効にします。

```
-> set /CMM/policy MONITOR_PS0_SIDE2=disabled
```

```
-> set /CMM/policy MONITOR_PS1_SIDE2=disabled
```

2. 無効にした電源コードのサイド2つの構成を表示するには、次のように入力します。

```
-> show /CMM/policy/  
  
/CMM/policy  
  Targets:  
  
  Properties:  
    COOLING_DOOR_INSTALLED = disabled  
    MONITOR_PS0_SIDE0 = enabled  
    MONITOR_PS0_SIDE1 = enabled  
    MONITOR_PS0_SIDE2 = disabled  
    MONITOR_PS1_SIDE0 = enabled  
    MONITOR_PS1_SIDE1 = enabled  
    MONITOR_PS1_SIDE2 = disabled  
    PS_FANS_HIGH = disabled  
  
  Commands:  
    cd  
    set  
    show
```



## 電源装置の特定の状態における ILOM の表示

この節では、Sun Blade 6048 モジュラーシステムに特定のケースでのシステムイベントログ (SEL) に対応する、センサーの表示をいくつか示します。

IPMItool を使用して SEL を表示するには、次のコマンドを使用します。

```
ipmitool -H SPIAddress -U root -P changeme sel list
```

### AC ケーブルの接続が解除された場合

AC ケーブルの接続が解除されると、SEL には、表 4-1 で電源装置のモジュール 0、サイド 0 についての例の中で示されているように表示されます。

---

注 – イベントの順序は、センサーの読み取り結果に基づくものなので、厳密にはリアルタイムのイベントと一致しない場合もあります。

---

表 4-1 AC ケーブルの接続が解除された場合の SEL の表示

Event ID (イベント ID)	デバイス	状態	説明
8	Voltage PS0/S0/V_OUT_OK	State Deasserted	AC が接続されていないため、PSU 0 side 0 の DC 出力はありません。
9	Voltage PS0/S0/V_IN_ERR	Predictive Failure Asserted	PSU 0 side 1 の AC の接続が解除されています。

## AC ケーブルの接続が解除後に再接続された場合

AC ケーブルの接続が解除され、その後、再接続された場合、SEL には、表 4-2 に電源装置のモジュール 0、サイド 0 について示されているように表示されます。

表 4-2 AC ケーブルが再接続された場合の SEL の表示

Event ID (イベント ID)	デバイス	状態	説明
8	Voltage PS0/S0/V_OUT_OK	State Deasserted	AC が接続されていないため、PSU 0 side 0 の DC 出力はありません。
9	Voltage PS0/S0/V_IN_ERR	Predictive Failure Asserted	PSU 0 side 0 の AC の接続が解除されています。
a	Voltage PS0/S0/V_OUT_OK	State Asserted	AC が接続されているため、PSU 0 side 0 の DC 出力は OK です。
b	Voltage PS0/S0/V_IN_ERR	Predictive Failure Deasserted (障害予測表明停止)	PSU 0 side 0 は接続されています。

## stop /CH コマンド

stop /CH コマンドが適用されると、SEL には、表 4-3 の例のように表示されます。この例では、2 本の電源コード構成について説明しています。

表 4-3 stop /CH SEL の表示

Event ID (イベント ID)	デバイス	状態	説明
29	Module/Board NEM1/STATE	Transition to Power Off	PSU の停止により、NEM 1 に十分な電力が供給されていません。
2a	Voltage PS0/S0/V_OUT_OK	State Deasserted	PSU 0 side 0 は電力オフの状態です。
2b	Voltage PS0/S1/V_OUT_OK	State Deasserted	PSU 0 side 1 は電力オフの状態です。
2c	Module/Board NEM0/STATE	Transition to Power Off	PSU の停止により、NEM 0 に十分な電力が供給されていません。
2d	Voltage PS1/S0/V_OUT_OK	State Deasserted	PSU 1 side 0 は電力オフの状態です。
2e	Voltage PS1/S1/V_OUT_OK	State Deasserted	PSU 1 side 0 は電力オフの状態です。

## start /CH コマンド

start /CH コマンドが適用されると、SEL には、表 4-4 の例のように表示されます。この例では、2 本の電源コード構成について説明しています。

表 4-4 start /CH SEL の表示

Event ID (イベント ID)	デバイス	状態	説明
2f	Module/Board NEM1/STATE	Transition to Running	NEM 1 に電力が投入されています。
30	OEM BL7/ERR	Predictive Failure Deasserted	ブレードモジュールにエラーはありません。
31	Module/Board NEM0/STATE	Transition to Running	NEM 0 に電力が投入されています。
32	Voltage PS1/S0/V_OUT_OK	State Asserted	PSU 1 side 0 は電力オンの状態です。
33	Voltage PS1/S1/V_OUT_OK	State Asserted	PSU 1 side 1 は電力オンの状態です。
34	OEM BL1/ERR	Predictive Failure Deasserted	ブレードモジュールにエラーはありません。
35	Voltage PS0/S0/V_OUT_OK	State Asserted	PSU 0 side 0 は電力オンの状態です。
36	Voltage PS0/S1/V_OUT_OK	State Asserted	PSU 0 side 1 は電力オンの状態です。

## PSU が 1 つ取り外されている場合

PSU が 1 つ取り外されて、シャーシ内の消費電力が増加し PSU の冗長性を維持できない場合、SEL には表 4-5 に示すとおり表示されます。

表 4-5 PSU が取り外された場合の SEL の表示

Event ID (イベント ID)	デバイス	状態	説明
1	Entity Presence PS0/PRSNT	Device Absent	PS0 がシステムにありません。

表 4-5 PSU が取り外された場合の SEL の表示 (続き)

Event ID (イベント ID)	デバイス	状態	説明
2	Voltage PS0/S0/V_OUT_OK	State Deasserted	PSU 0 side 0 は電力オフの状態です。
3	Voltage PS0/S1/V_OUT_OK	State Deasserted	PSU 0 side 1 は電力オフの状態です。
4	Voltage PS0/S2/V_OUT_OK	State Deasserted	PSU 0 side 2 は電力オフの状態です。

## PSU が再挿入される場合

表 4-6 では、PSU がシステムに再挿入され、再び通電したことをシステムが認識した際の SEL の表示を示しています。

表 4-6 PSU が再挿入された場合の SEL の表示

Event ID (イベント ID)	デバイス	状態	説明
5	Entity Presence PS0/PRSNT	Device Present	PSU がシステム内にあります。
6	Voltage PS0/S0/V_OUT_OK	State Asserted	PSU 0 side 0 は電力オンの状態です。
7	Voltage PS0/S1/V_OUT_OK	State Asserted	PSU 0 side 1 は電力オンの状態です。
8	Voltage PS0/S2/V_OUT_OK	State Asserted	PSU 0 side 2 は電力オンの状態です。

## 第5章

# Sun Blade Zone Manager

この章には、次の表で示されているように、Sun Blade Zone Manager の機能についての情報が含まれています。

説明	リンク
Sun Blade Zone Manager の機能とその使用に関する前提条件を学習する	• <a href="#">60 ページの「Sun Blade Zone Manager について」</a>
Sun Blade Zone Manager にアクセスして有効にする	• <a href="#">68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」</a>
ストレージのゾーン構成を作成する	• <a href="#">73 ページの「シャーシのストレージアクセス構成の作成」</a>
ストレージのゾーン構成を表示または変更する	• <a href="#">86 ページの「シャーシのストレージアクセス構成の表示または変更」</a>
ストレージのゾーン構成を保存する	• <a href="#">101 ページの「シャーシのストレージアクセス構成の保存」</a>
ストレージのゾーン構成をバックアップする	• <a href="#">103 ページの「ストレージアクセス構成のバックアップ」</a>
ストレージのゾーン構成を復元する	• <a href="#">105 ページの「ゾーン構成の復元」</a>
ゾーン構成をリセットする	• <a href="#">109 ページの「ゾーン構成のリセット」</a>
ゾーンのパスワードをリセットする	• <a href="#">111 ページの「ゾーンのパスワードのリセット」</a>

---

# Sun Blade Zone Manager について

この節では、次の項目について説明します。

- [60 ページの「Sun Blade Zone Manager 概要」](#)
- [60 ページの「サポートされる ILOM インタフェース」](#)
- [64 ページの「ゾーン構成の概要」](#)
- [67 ページの「サポートされるハードウェアおよびファームウェアの構成」](#)

## Sun Blade Zone Manager 概要

Sun Blade Zone Manager は、Sun Blade モジュラーシステムの CPU ブレード、ストレージデバイス、および NEM への SAS-2 のストレージ割り当てを処理します。また、Zone Manager はシャーシ監視モジュール (CMM) で実行され、ストレージブレードおよび NEM 上の SAS-2 エクスパンダ間とのイーサネットリンクを介してストレージリソースと通信します。

Zone Manager を使用して、シャーシに接続されているストレージモジュールのストレージデバイスをサーバーブレードに割り当てることができます。クラスタの場合、ストレージデバイスは複数のサーバーモジュール (ブレード) に割り当てることが可能です。

現時点では、Zone Manager は Sun Blade 6000 モジュラーシステムでのみ使用可能です。

## サポートされる ILOM インタフェース

Sun Blade Zone Manager は、ILOM 3.0.10 以降が含まれる Sun Blade 6000 Modular System CMM SW 3.0.10 以降で使用できます。

Zone Manager は、ILOM の Web インタフェースまたはコマンド行インタフェース (CLI) からアクセスできます。Web インタフェースと CLI の機能は同等ですが、Web インタフェースには使いやすい機能がいくつか追加されています。

この節では、次の項目について説明します。

- [61 ページの「Web インタフェースを使用した Zone Manager へのアクセス」](#)
- [63 ページの「CLI を使用した Zone Manager へのアクセス」](#)

## Web インタフェースを使用した Zone Manager へのアクセス

Sun Blade Zone Manager には、CMM ILOM の「Storage」タブからアクセスします。ストレージ構成の設定には次の 2 つのオプションがあります。

- Quick Setup は、4 種類のゾーン構成のいずれかを選択して、初回のゾーンを設定できます。
- Detailed Setup は、ブレードやストレージデバイスを個別に選択して、ゾーン構成を作成または変更できます。

次の例は、Quick Setup で使用できる構成の 1 つです。

**Quick Setup**  
Select how you would like all chassis storage resources allocated and click 'Save'.

1. Assign per individual disks.   
  2. Assign per adjacent individual disks.  
 3. Assign per storage blade.   
  4. Assign per adjacent storage blade.

---

SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCM000000000000000000

Slot 0	Slot 1	Slot 2	Slot 3	Slot 4	Slot 5	Slot 6	Slot 7	Slot 8	Slot 9
Server Blade SUN BLADE X8270 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X8270 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X8270 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2
	HDD 6, HDD 7 HDD 4, HDD 5 HDD 2, HDD 3 HDD 0, HDD 1	HDD 6, HDD 7 HDD 4, HDD 5 HDD 2, HDD 3 HDD 0, HDD 1	HDD 6, HDD 7 HDD 4, HDD 5 HDD 2, HDD 3 HDD 0, HDD 1		HDD 6, HDD 7 HDD 4, HDD 5 HDD 2, HDD 3 HDD 0, HDD 1	HDD 6, HDD 7 HDD 4, HDD 5 HDD 2, HDD 3 HDD 0, HDD 1	HDD 6, HDD 7 HDD 4, HDD 5 HDD 2, HDD 3 HDD 0, HDD 1		HDD 6, HDD 7 HDD 4, HDD 5 HDD 2, HDD 3 HDD 0, HDD 1
	FMOD 22, FMOD 23 FMOD 20, FMOD 21 FMOD 18, FMOD 19 FMOD 16, FMOD 17 FMOD 14, FMOD 15 FMOD 12, FMOD 13 FMOD 10, FMOD 11 FMOD 8, FMOD 9 FMOD 6, FMOD 7 FMOD 4, FMOD 5 FMOD 2, FMOD 3 FMOD 0, FMOD 1	FMOD 22, FMOD 23 FMOD 20, FMOD 21 FMOD 18, FMOD 19 FMOD 16, FMOD 17 FMOD 14, FMOD 15 FMOD 12, FMOD 13 FMOD 10, FMOD 11 FMOD 8, FMOD 9 FMOD 6, FMOD 7 FMOD 4, FMOD 5 FMOD 2, FMOD 3 FMOD 0, FMOD 1	FMOD 22, FMOD 23 FMOD 20, FMOD 21 FMOD 18, FMOD 19 FMOD 16, FMOD 17 FMOD 14, FMOD 15 FMOD 12, FMOD 13 FMOD 10, FMOD 11 FMOD 8, FMOD 9 FMOD 6, FMOD 7 FMOD 4, FMOD 5 FMOD 2, FMOD 3 FMOD 0, FMOD 1		FMOD 22, FMOD 23 FMOD 20, FMOD 21 FMOD 18, FMOD 19 FMOD 16, FMOD 17 FMOD 14, FMOD 15 FMOD 12, FMOD 13 FMOD 10, FMOD 11 FMOD 8, FMOD 9 FMOD 6, FMOD 7 FMOD 4, FMOD 5 FMOD 2, FMOD 3 FMOD 0, FMOD 1	FMOD 22, FMOD 23 FMOD 20, FMOD 21 FMOD 18, FMOD 19 FMOD 16, FMOD 17 FMOD 14, FMOD 15 FMOD 12, FMOD 13 FMOD 10, FMOD 11 FMOD 8, FMOD 9 FMOD 6, FMOD 7 FMOD 4, FMOD 5 FMOD 2, FMOD 3 FMOD 0, FMOD 1	FMOD 22, FMOD 23 FMOD 20, FMOD 21 FMOD 18, FMOD 19 FMOD 16, FMOD 17 FMOD 14, FMOD 15 FMOD 12, FMOD 13 FMOD 10, FMOD 11 FMOD 8, FMOD 9 FMOD 6, FMOD 7 FMOD 4, FMOD 5 FMOD 2, FMOD 3 FMOD 0, FMOD 1		FMOD 22, FMOD 23 FMOD 20, FMOD 21 FMOD 18, FMOD 19 FMOD 16, FMOD 17 FMOD 14, FMOD 15 FMOD 12, FMOD 13 FMOD 10, FMOD 11 FMOD 8, FMOD 9 FMOD 6, FMOD 7 FMOD 4, FMOD 5 FMOD 2, FMOD 3 FMOD 0, FMOD 1

NEM Slot 0      NEM Slot 1

SAS NEM      SAS NEM

NEM-2      NEM-2

EXT 0	EXT 1	EXT 2	EXT 3
-------	-------	-------	-------

NAC name: -

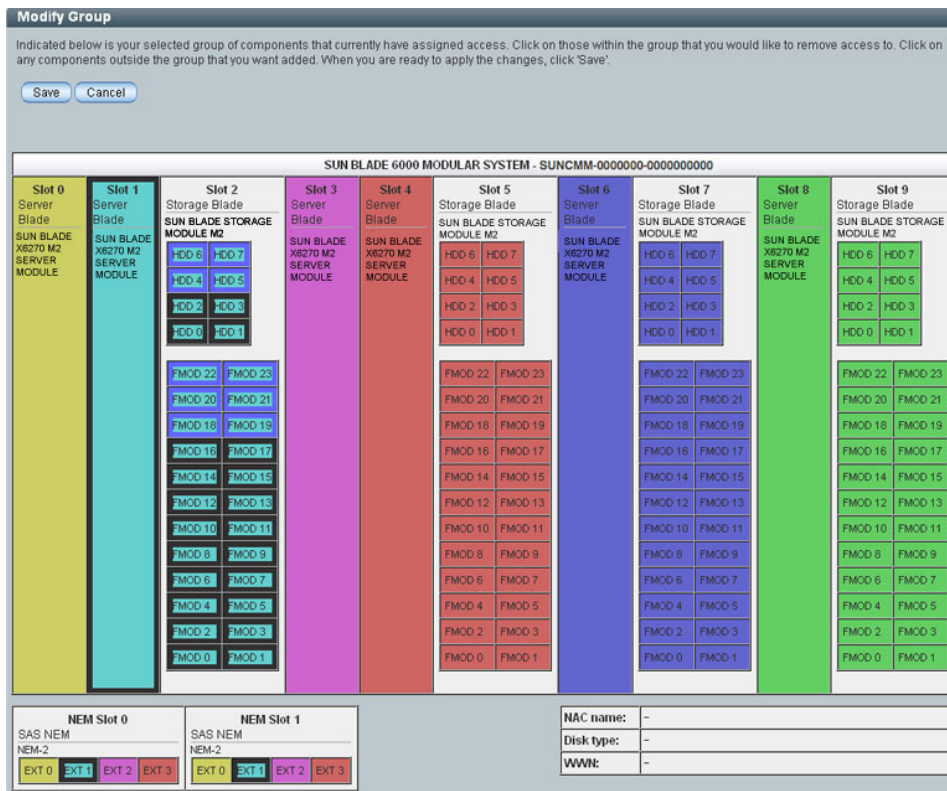
Disk type: -

WWN: -

注 – ターゲット NEM0 および NEM1 は、これらの NEM が接続されると Zone Manager に表示されますが、この時点では Sun Blade Zone Manager の外部 SAS 接続はサポートされません。

Quick Setup の詳細については、73 ページの「Quick Setup を使用したシャーシのストレージアクセス構成の作成」を参照してください。

Detailed Setup では、Quick Setup で設定したゾーン構成を変更したり、ストレージデバイスをサーバーブレードに個別に割り当てたりすることができます。次の例では、サーバーブレードへの割り当てから削除するために選択されているドライブを示しています。



ドライブ HDD4-HDD7 と FMOD1-FMOD6 が選択され、青色で強調表示されています。構成を保存すると、これらのストレージデバイスはスロット 1 のサーバーブレードとは結合していない状態になります。

Detailed Setup を使用してゾーン構成を変更する方法の詳細については、87 ページの「Web インタフェースを使用してシャーシのストレージ構成を表示および変更する」を参照してください。



## CLI を使用した Zone Manager へのアクセス

コマンド行インタフェースでは、名前空間 /STORAGE/sas\_zoning からブレードやストレージデバイスのゾーン機能にアクセスできます。

ゾーン機能が有効になっている場合、SAS-2 対応のブレードと NEM がターゲットとして /STORAGE/sas\_zoning の下に表示されます。例:

```
-> show /STORAGE/sas_zoning

Targets:
  BL 0
  BL6
  BL7
  BL8
  BL9
  NEM0
  NEM1

Properties
  zone_management_state = enabled
  reset_password_action = (Cannot show property)
  reset_access_action = (Cannot show property)

Commands:
  cd
  set
  show
```

---

**注** – ターゲット NEM0 および NEM1 は、これらの NEM が接続されると Zone Manager に表示されますが、この時点では Sun Blade Zone Manager の外部 SAS 接続はサポートされません。

---

ストレージブレードに取り付けられているストレージデバイスは、ストレージブレードのターゲットとして表示されます。たとえば、BL9 がスロット 9 に接続されているストレージブレードである場合、このブレードに接続されているストレージデバイスは次のように表示されます。

```
-> show /STORAGE/sas_zoning/BL9
```

```
Targets:  
  FMOD8  
  HDD0  
  HDD2  
  HDD3  
  HDD5
```

ゾーン構成は、サーバーブレードまたはストレージブレードのいずれからアクセスと変更ができます。いずれの方法でも同じ結果が得られます。

## ゾーン構成の概要

次のトピックでは、CLI によるゾーン構成の概要について説明します。

- [64 ページの「ゾーン機能のコマンド」](#)
- [65 ページの「サーバーブレードへのストレージの割り当て」](#)
- [66 ページの「ストレージへのサーバーブレードの割り当て」](#)

## ゾーン機能のコマンド

ストレージをサーバーブレードに割り当てるか、サーバーブレードをストレージデバイスに割り当てることで設定できます。いずれの方法でも同じ結果が得られます。

ストレージデバイスをサーバーブレードに割り当てる場合は、次のいずれかのコマンドを使用します。

```
-> set add_storage_access=/CH/BLn/HDDn
```

または

```
-> set add_storage_access=/CH/BLn/FMODn
```

ここでは、BLn はストレージブレード、HDDn はストレージブレードに取り付けられているハードディスクドライブ、FMODn はストレージブレードに取り付けられているフラッシュモジュール (FMOD) を表します。

必要に応じて、ストレージデバイスをコンマで区切ることで、同じコマンド行で複数のストレージデバイスをブレードに割り当てることができます。例:

```
-> set add_storage_access=/CH/BLn/FMODn,/CH/BLn/HDDn
```

サーバーブレードをストレージデバイスに割り当てる場合は、次のコマンドを使用します。

```
-> set add_host_access=/CH/BLn
```

ここでは、BLn はストレージデバイスの割り当て先のサーバーブレードを表します。

## サーバーブレードへのストレージの割り当て

サーバーブレードにストレージデバイスを割り当てる前は、このブレードの下に表示されるターゲットはありません。次の例で、BL0 はスロット 0 のサーバーブレードです。

```
-> cd /STORAGE/sas_zoning/BL0
-> show

/STORAGE/sas_zoning/BL0
Targets:

Properties:
  add_storage_access = (Cannot show property)
  remove_storage_access = (Cannot show property)
```

次のコマンドでは、シャーシのスロット 9 のストレージブレードに取り付けられている HDD0 がスロット 0 に取り付けられているサーバーブレードに割り当てられます。

```
-> set add_storage_access=/CH/BL9/HDD0
```

ストレージデバイスがサーバーブレードに割り当てられると、そのストレージデバイスがサーバーブレードのターゲットとして表示されます。例:

```
-> show

/STORAGE/sas_zoning/BL0

Targets:
  0 (/CH/BL9/HDD0)

Properties:
  add_storage_access = (Cannot show property)
  remove_storage_access = (Cannot show property)
```

## ストレージへのサーバブレードの割り当て

ストレージデバイスにブレードを割り当てた後で、このストレージデバイスの下にターゲットが表示されます。次の例で、HDD0 はシャーシのスロット 9 に取り付けられているストレージブレードに接続されたストレージデバイスです。

```
-> cd /STORAGE/sas_zoning/BL9/HDD0
-> show

/STORAGE/sas_zoning/BL9/HDD0

Targets:

Properties:
  type = Hard Disk
  disk_type = SAS
  wwn = 0x5000c50003d3a765, 0x5000c50003d3a766
  sas_speed = 6.0 Gbps
  add_host_access = (Cannot show property)
  remove_host_access = (Cannot show property)
```

次のコマンドでは、スロット 0 のサーバブレードがストレージブレード 9 の HDD0 に割り当てられます。

```
-> set add_host_access=/CH/BL0
```

サーバブレードがストレージデバイスに割り当てられると、そのサーバブレードがストレージデバイスのターゲットとして表示されます。例:

```
-> show

/STORAGE/sas_zoning/BL9/HDD0

Targets:
  0 (/CH/BL0)

Properties:
  type = Hard Disk
  disk_type = SAS
  wwn = 0x5000c50003d3a765, 0x5000c50003d3a766
  sas_speed = 6.0 Gbps
  add_host_access = (Cannot show property)
  remove_host_access = (Cannot show property)
```

ゾーンの作成および変更する方法の詳細については、次の手順を参照してください。

- [73 ページの「シャーシのストレージアクセス構成の作成」](#)
- [86 ページの「シャーシのストレージアクセス構成の表示または変更」](#)

# サポートされるハードウェアおよびファームウェアの構成

次の節では、Sun Blade Zone Manager をサポートするハードウェアおよびファームウェアの構成について説明します。

- [67 ページの「SAS-2 対応のハードウェア」](#)
- [67 ページの「その他のシステム要件」](#)

## SAS-2 対応のハードウェア

Sun Blade Zone Manager で認識されるためには、シャーシにある次のハードウェアはいずれも SAS-2 に対応している必要があります。

- SAS-2 REM のあるサーバーブレード
- Network Express Module (NEM)
- ストレージブレード

ストレージモジュールまたはサーバーブレードが SAS-2 に対応していない場合は、Zone Manager の構成に含まれません。このブレードの存在は Web インタフェースで確認できますが、デバイスは「non SAS-2」と表示されます。CLI では、SAS-2 非対応のブレードは一切表示されません。

CPU ブレードを除く SAS-2 デバイスは、Zone Manager で認識されるには電源が入っている必要があります。また、障害が発生した状態の SAS-2 デバイスは Zone Manager で認識されないことがあります。コンポーネントの障害の検出については、使用しているプラットフォーム固有の ILOM 補足資料または各プラットフォームの管理マニュアルを参照してください。

## その他のシステム要件

- Sun Blade 6000 モジュラーシステムには、PCIe 2.0 準拠のミッドプレーンが必要です。この要件を満たしているかどうかを判定する方法の詳細については、『Sun Blade 6000 モジュラーシステムご使用にあたって』を参照してください。
- Sun Blade 6000 モジュラーシステムにソフトウェアリリース 3.2.1 がインストールされている必要があります。このリリースには、SAS-2 をサポートする最低バージョン (3.0.10.15a) の CMM ILOM ファームウェアと、Sun Blade Zone Manager が含まれています。
- SAS-2 をサポートするコンポーネント (SAS-2 REM、SAS-2 NEM、SAS-2 ストレージモジュールを備えたサーバーモジュール) がインストールされている必要があります。

- SAS-2 NEM は、ゾーン機能をサポートするレベルのファームウェアバージョンでなければなりません。NEM のプロダクトノートで、バージョン情報と利用可能な更新を確認してください。
- CMM ILOM の初期設定と構成を行い、このドキュメントの第 2 章で説明されている接続方法 (Web ブラウザまたは CLI) のいずれの方法で接続するかを決めておく必要があります。

---

## Sun Blade Zone Manager へのアクセス

この節では、Zone Manager にアクセスする方法と有効化する方法について説明します。この節では、次の項目について説明します。

- 68 ページの「Web インタフェースを使用して Sun Blade Zone Manager にアクセスして有効にする」
- 71 ページの「CLI を使用して Sun Blade Zone Manager にアクセスして有効にする」

### ▼ Web インタフェースを使用して Sun Blade Zone Manager にアクセスして有効にする

開始する前に: シャーシの構成が、67 ページの「サポートされるハードウェアおよびファームウェアの構成」の要件を満たしていることを確認します。

次の手順に従って、Web インタフェースを使用して Zone Manager にアクセスして有効にします。

1. Web ブラウザを開き、次の URL を入力して CMM にログインします。

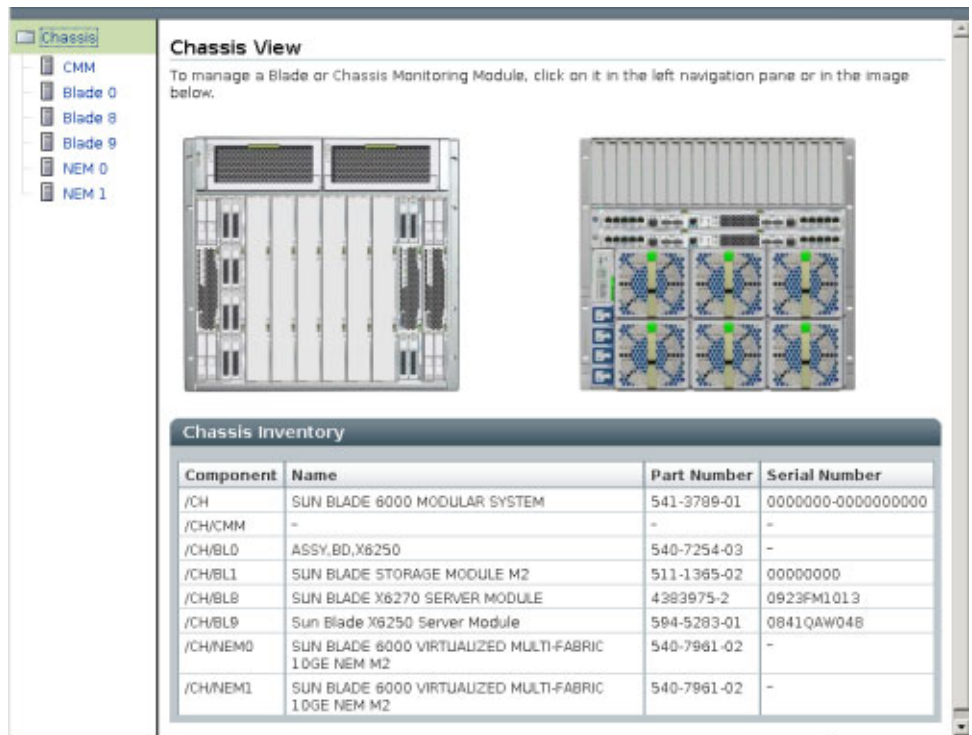
**http://chassis\_sp\_ipaddress/**

ここでは、*chassis\_sp\_ipaddress* はシャーシのサービスプロセッサの IP アドレスを表します。

ILOM のログインページが表示されます。

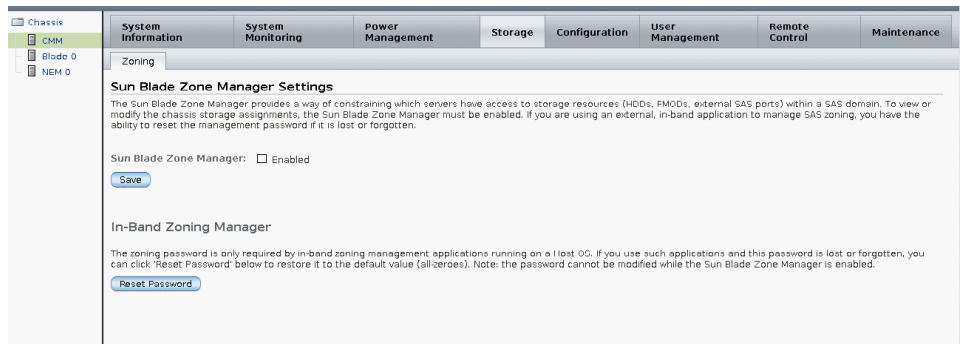
2. root ユーザーアカウントでログインします。

CMM ILOM のメインページが表示されます。



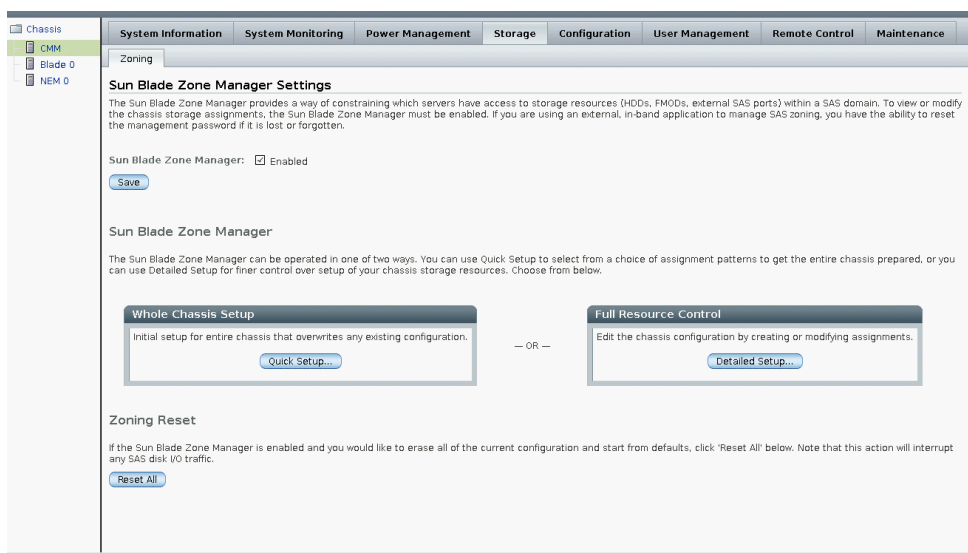
3. 左側の「Chassis」ナビゲーション区画で「CMM」をクリックし、「Storage」タブをクリックします。

「Zone Manager Settings」サブページが表示されます。

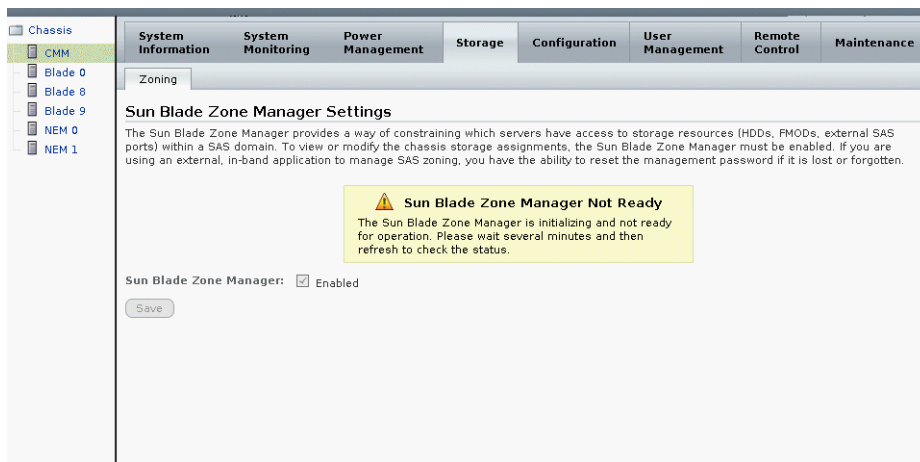


4. 「Enable」 チェックボックスをオンにして CMM のゾーン機能を有効にし、「Save」 ボタンをクリックします。

これで、CMM からゾーン機能の作成、表示、管理ができるようになります。



CMM ILOM サービスがまだ初期化中の場合は、次のメッセージが表示されます。



このメッセージが表示された場合は、5 分間待つてから、再度実行してください。このページを閉じてから再度開くか、更新する必要があります。

5. 73 ページの「シャシのストレージアクセス構成の作成」の手順を使用して、ストレージのゾーン機能を設定します。



## ▼ CLI を使用して Sun Blade Zone Manager にアクセスして有効にする

開始する前に: シャーシの構成が、67 ページの「サポートされるハードウェアおよびファームウェアの構成」の要件を満たしていることを確認します。

次の手順に従って、CLI を使用して Zone Manager にアクセスして有効にします。

1. 端末ウィンドウを開き、次のコマンドを入力して CMM への SSH 接続を確立します。

```
# ssh -l root cmm_ipaddress
```

ここでは、*cmm\_ipaddress* は、CMM の IP アドレスを表します。

ログインプロンプトが表示されます。

2. 次に示すように、*root* としてログインしてルートパスワードを入力します。

```
/hostname/login: root
```

パスワード: xxxxxxxx

正常にログインすると、次の CLI プロンプトが表示されます。

```
->
```

3. 次のコマンドを入力して、ゾーン機能に必要な最低バージョンの CMM ファームウェアがインストールされていることを確認します。

```
-> version
```

ILOM ファームウェアは、3.0.10 以上でなければなりません。これよりも前のバージョンである場合は、バージョン 3.2.1 (またはそれ以降) の CMM ILOM ファームウェアをダウンロードする必要があります。ファームウェアのダウンロードおよびアップグレードの手順については、第 3 章を参照してください。ダウンロード後、CMM ILOM ファームウェアをアップグレードします。

4. 次のコマンドを入力して、ディレクトリを *sas\_zoning* に変更します。

```
-> cd /STORAGE/sas_zoning/
```

5. show コマンドを入力して、sas\_zoning が有効になっているかどうかを確認します。例:

```
-> show
/STORAGE/sas_zoning

Targets:

Properties:
  zone_management_state = disabled
  reset_password_action = (Cannot show property)
  reset_access_action = (Cannot show property)

Commands:
  cd
  set
  show
```

zone\_management\_state = disabled と表示されている場合は、保存されている SAS-2 のゾーン設定はありません。

6. 必要に応じて、次のコマンドを入力してゾーン機能を有効化します。

```
-> set zone_management_state=enabled
```

- Zone Manager が有効化できる状態になっている場合は、次のメッセージが表示されます。

```
Enabling the Sun Blade Zone Manager will result in the clearing of all zoning configuration in the installed chassis SAS hardware, and any SAS disk I/O in progress will be interrupted.
```

```
Are you sure you want to enable the Sun Blade Zone Manager (y/n)? y
```

```
Set 'zone_management_state' to 'enabled'
```

- CMM ILOM が初期化されていない場合は、次のメッセージが表示されます。

```
set: The Sun Blade Zone Manager is initializing and not ready for operation. Please wait several minutes and try again.
```

このメッセージが表示された場合は、5分間待つてから、コマンドを再度実行します。

7. [73 ページの「シャーシのストレージアクセス構成の作成」](#)の手順を使用して、ストレージのゾーン機能を設定します。

---

# シャーシのストレージアクセス構成の作成

シャーシのストレージアクセスを作成するには、次の 3 つのオプションがあります。Quick Setup で Web インタフェースを使用する方法、Detailed Setup で Web インタフェースを使用する方法、CLI を使用する方法です。また、設定を復元して、ゾーン作成済みの構成のバックアップを使用することもできます (105 ページの「[ゾーン構成の復元](#)」を参照)。

Quick Setup は、SAS-2 に準拠した CPU ブレードのシャーシの初期ストレージアクセス構成を作成するプロセスを自動化するウィザードです。Quick Setup は ILOM Web インタフェースからのみ使用できます。CLI には、Quick Setup と同等の機能はありません。

この節では、次の項目について説明します。

- [73 ページの「Quick Setup を使用したシャーシのストレージアクセス構成の作成」](#)
- [79 ページの「Detailed Setup を使用したシャーシのストレージアクセス構成の作成」](#)
- [84 ページの「CLI を使用したシャーシのストレージ構成の作成」](#)

## Quick Setup を使用したシャーシのストレージアクセス構成の作成

ILOM の Web インタフェースの Quick Setup では、ブレードやストレージデバイスをシャーシ内でゾーン化する方法を 4 種類の構成オプションから選択できます。

---

**注** – ターゲット NEM0 および NEM1 は、これらの NEM が接続されると Zone Manager に表示されますが、この時点では Sun Blade Zone Manager の外部 SAS 接続はサポートされません。

---

この節では、次の項目について説明します。

- [74 ページの「Quick Setup のオプション」](#)
- [77 ページの「Quick Setup を使用して Web インタフェースでシャーシの初期ストレージ構成を作成する」](#)

# Quick Setup のオプション

次のトピックで、Quick Setup で使用できる 4 つのオプションについて説明します。

- 74 ページの「オプション 1: 個別のディスクごとに割り当てる」
- 75 ページの「オプション 2: 隣接する個別のディスクごとに割り当てる」
- 76 ページの「オプション 3: ストレージブレードごとに割り当てる」
- 77 ページの「オプション 4: 隣接するストレージブレードごとに割り当てる」

## オプション 1: 個別のディスクごとに割り当てる

このオプションでは、ラウンドロビアルゴリズムを使用してディスクをホストに割り当てます。ディスクの所有権は、有効なストレージモジュールに均等に分配されます。

このオプションは、単一のストレージモジュールの障害や削除がアレイの停止を引き起こさないような耐障害性に適しています。

**Quick Setup**

Select how you would like all chassis storage resources allocated and click 'Save'.

1. Assign per individual disks.   
  2. Assign per adjacent individual disks.

3. Assign per storage blade.   
  4. Assign per adjacent storage blade.

---

SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - bur\_02\_core\_ilom

Slot 0	Slot 1	Slot 2	Slot 3	Slot 4	Slot 5	Slot 6	Slot 7	Slot 8	Slot 9
Server Blade Sun Blade X8270 M2	Server Blade Sun Blade X8270 M2	Storage Blade Sun Blade Storage Module M2	Server Blade Sun Blade X8270 M2	Server Blade Sun Blade X8270 M2	Storage Blade Sun Blade Storage Module M2	Storage Blade Sun Blade Storage Module M2	Server Blade Sun Blade X8270 M2	Storage Blade Sun Blade Storage Module M2	Storage Blade Sun Blade Storage Module M2
		HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0	HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1		HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0	HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1		HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0	HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1
		FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 23 FMOD 21 FMOD 19 FMOD 17 FMOD 15 FMOD 13 FMOD 11 FMOD 9 FMOD 7 FMOD 5 FMOD 3 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 23 FMOD 21 FMOD 19 FMOD 17 FMOD 15 FMOD 13 FMOD 11 FMOD 9 FMOD 7 FMOD 5 FMOD 3 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 23 FMOD 21 FMOD 19 FMOD 17 FMOD 15 FMOD 13 FMOD 11 FMOD 9 FMOD 7 FMOD 5 FMOD 3 FMOD 1

NEM Slot 0			
SAS NEM NEM-2	EXT 0	EXT 1	EXT 2
	EXT 3		

NEM Slot 1			
SAS NEM NEM-2	EXT 0	EXT 1	EXT 2
	EXT 3		

NAC name:	/CH/BL9/FMOD1
Disk type:	SAS
WWN:	80205010:33333336 80205010:33333337

## オプション 2: 隣接する個別のディスクごとに割り当てる

このオプションでは、ストレージデバイスの数がサーバブレード間で均等に分割されます。すべてのサーバで、できるだけディスクが同数になるように割り当てられます。

有効なすべてのストレージブレード間で、ラウンドロビン方式でストレージを割り当てるのではなく、サーバブレードに隣接するストレージブレードからストレージが割り当てられます。サーバブレードに隣接するストレージブレードがない場合は、できるだけ近いストレージブレードが使用されます。

このオプションは、ストレージブレードよりもサーバブレードの数が多く、各ストレージブレードに同数のストレージデバイスを割り当てる必要がある場合に適しています。

**Quick Setup**

Select how you would like all chassis storage resources allocated and click 'Save':

1. Assign per individual disks.
  2. Assign per adjacent individual disks.
  3. Assign per storage blade.
  4. Assign per adjacent storage blade.

**Save**

---

**SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-0000000-0000000000**

Slot 0	Slot 1	Slot 2	Slot 3	Slot 4	Slot 5	Slot 6	Slot 7	Slot 8	Slot 9
Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade Vfgo+	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2
		HDD 6   HDD 7 HDD 4   HDD 5 HDD 2   HDD 3 HDD 0   HDD 1			HDD 6   HDD 7 HDD 4   HDD 5 HDD 2   HDD 3 HDD 0   HDD 1		HDD 6   HDD 7 HDD 4   HDD 5 HDD 2   HDD 3 HDD 0   HDD 1		HDD 6   HDD 7 HDD 4   HDD 5 HDD 2   HDD 3 HDD 0   HDD 1
		FMOD 22   FMOD 23 FMOD 20   FMOD 21 FMOD 18   FMOD 19 FMOD 16   FMOD 17 FMOD 14   FMOD 15 FMOD 12   FMOD 13 FMOD 10   FMOD 11 FMOD 8   FMOD 9 FMOD 6   FMOD 7 FMOD 4   FMOD 5 FMOD 2   FMOD 3 FMOD 0   FMOD 1			FMOD 22   FMOD 23 FMOD 20   FMOD 21 FMOD 18   FMOD 19 FMOD 16   FMOD 17 FMOD 14   FMOD 15 FMOD 12   FMOD 13 FMOD 10   FMOD 11 FMOD 8   FMOD 9 FMOD 6   FMOD 7 FMOD 4   FMOD 5 FMOD 2   FMOD 3 FMOD 0   FMOD 1		FMOD 22   FMOD 23 FMOD 20   FMOD 21 FMOD 18   FMOD 19 FMOD 16   FMOD 17 FMOD 14   FMOD 15 FMOD 12   FMOD 13 FMOD 10   FMOD 11 FMOD 8   FMOD 9 FMOD 6   FMOD 7 FMOD 4   FMOD 5 FMOD 2   FMOD 3 FMOD 0   FMOD 1		FMOD 22   FMOD 23 FMOD 20   FMOD 21 FMOD 18   FMOD 19 FMOD 16   FMOD 17 FMOD 14   FMOD 15 FMOD 12   FMOD 13 FMOD 10   FMOD 11 FMOD 8   FMOD 9 FMOD 6   FMOD 7 FMOD 4   FMOD 5 FMOD 2   FMOD 3 FMOD 0   FMOD 1

<b>NEM Slot 0</b>				<b>NEM Slot 1</b>				NAC name: -	
SAS NEM NEM-2				SAS NEM NEM-2				Disk type: -	
EXT 0	EXT 1	EXT 2	EXT 3	EXT 0	EXT 1	EXT 2	EXT 3	WWN: -	

## オプション 3: ストレージブレードごとに割り当てる

このオプションでは、スロット 0 から開始してサーバーを検出し、もっとも近くにある有効なストレージモジュールを割り当てます。たとえば、サーバーが 7 つ、ストレージモジュールが 3 つある場合は、最初の 3 つのサーバーにのみストレージモジュールが割り当てられます。

このオプションは、ストレージブレードとモジュールの数が同数以上あるの場合に適しています。ストレージブレードが少ないと、一部のサーバーブレードがストレージデバイスに割り当てられません。

**Quick Setup**

Select how you would like all chassis storage resources allocated and click 'Save'.

1. Assign per individual disks.   
  2. Assign per adjacent individual disks.  
 3. Assign per storage blade.   
  4. Assign per adjacent storage blade.

---

**SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-00000000-0000000000**

Slot 0 Server Blade SUN BLADE X6270 SERVER MODULE	Slot 1 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 2 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 3 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 4 Server Blade SUN BLADE X6270 SERVER MODULE	Slot 5 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 6 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 7 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 8 Server Blade SUN BLADE X6270 SERVER MODULE	Slot 9 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2
HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0 HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1	HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0 HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1	HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0 HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1	HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0 HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1	HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0 HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1	HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0 HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1	HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0 HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1	HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0 HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1	HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0 HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1	HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0 HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1
FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0

**NEM Slot 0**

SAS NEM  
NEM-2

EXT 0   EXT 1   EXT 2   EXT 3

**NEM Slot 1**

SAS NEM  
NEM-2

EXT 0   EXT 1   EXT 2   EXT 3

NAC name: -

Disk type: -

WWW: -

## オプション 4: 隣接するストレージブレードごとに割り当てる

このオプションでは、隣接するスロット内で、サーバーごとに1つのストレージモジュールのあるサーバーが検出されます。隣接するスロットにストレージモジュールがないサーバーには、どのストレージも割り当てられません。

このオプションは、ストレージブレードとサーバーブレードが同数で、各サーバーブレードに隣接する一意のストレージブレードがある場合に適しています。

**Quick Setup**

Select how you would like all chassis storage resources allocated and click 'Save'.

1. Assign per individual disks.     2. Assign per adjacent individual disks.  
 3. Assign per storage blade.     4. Assign per adjacent storage blade.

**Save**

---

SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCM-0000000-000000000

Slot 0	Slot 1	Slot 2	Slot 3	Slot 4	Slot 5	Slot 6	Slot 7	Slot 8	Slot 9
Server Blade SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2
	HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1	HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1	HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1	HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1	HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1
	FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1	FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1	FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1	FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1	FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1

**NEM Slot 0**

SAS NEM NEM-2

EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT 3

**NEM Slot 1**

SAS NEM NEM-2

EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT 3

NAC name: -

Disk type: -

WWN: -

### ▼ Quick Setup を使用して Web インタフェースでシャーシの初期ストレージ構成を作成する

開始する前に: シャーシの構成が、67 ページの「サポートされるハードウェアおよびファームウェアの構成」の要件を満たしていることを確認します。

1. Sun Blade Zone Manager へアクセスします。5-68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。
2. 「Sun Blade Zone Manager」セクションで、「Quick Setup」ボタンをクリックします。

警告メッセージが表示されます。





4. Quick Setup のいずれかのオプションを選択します。

各オプションの説明については、74 ページの「Quick Setup のオプション」を参照してください。

オプションを選択すると、画面に CPU ブレードおよびストレージデバイス (HDD と FMOD) との間で色分けされたゾーン機能の割り当てが表示されます。Sun Blade Zone Manager によって NEM0 と NEM1 の外部 SAS 接続が割り当てられますが、この接続は正式にはサポートされていません。

---

注 – 「Save」 ボタンをクリックするまで、構成は保存されません。

---

5. 「Save」 ボタンをクリックして構成を保存します。

構成を保存した時の結果の詳細については、101 ページの「シャーシのストレージアクセス構成の保存」を参照してください。

6. 構成をバックアップします。

103 ページの「ストレージアクセス構成のバックアップ」を参照してください。

## Detailed Setup を使用したシャーシのストレージアクセス構成の作成

Detailed Setup の「New Assignments」オプションを使用して、シャーシのストレージアクセス構成を手動で作成できます。

---

注 – ターゲット NEM0 および NEM1 は、これらの NEM が接続されると Zone Manager に表示されますが、この時点では Sun Blade Zone Manager の外部 SAS 接続はサポートされません。

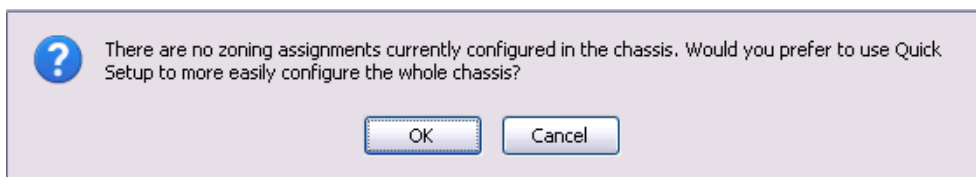
---

## ▼ Detailed Setup を使用して Web インタフェースでシャーシのストレージ構成を作成する

開始する前に: シャーシの構成が、67 ページの「サポートされるハードウェアおよびファームウェアの構成」の要件を満たしていることを確認します。

1. Sun Blade Zone Manager へアクセスします。  
68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。
2. 「Sun Blade Zone Manager」セクションで、「Detailed Setup」ボタンをクリックします。

シャーシのストレージ構成を設定していない場合には、次のメッセージが表示されます。



3. 次のいずれかの手順を実行します。
  - Detailed Setup で設定を行う場合は、「Cancel」をクリックします。  
「Cancel」をクリックすると、「Detailed Setup」ページが開きます。
  - Quick Setup で元の構成を設定する場合には、「OK」をクリックします。  
「OK」をクリックすると、「Quick Setup」ページが開きます。Quick Setupの詳細については、73 ページの「Quick Setup を使用したシャーシのストレージアクセス構成の作成」を参照してください。

**Zoning Config**

The current access permission assignments are displayed below. Click 'New Assignments' to make new access groupings. Or, click on any component to select all those to which it has access assigned, then click 'Modify Group' to make changes to that selected group.

[New Assignments](#) [Modify Group](#)

**SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - bur\_02\_core\_0tom**

Slot 0 Server Blade	Slot 1 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 2 Server Blade	Slot 3 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 4 Server Blade	Slot 5 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 6 Server Blade	Slot 7 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 8 Server Blade	Slot 9 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2
	HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1
	FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1

<b>NEM Slot 0</b>				<b>NEM Slot 1</b>				NAC name: -	
SAS NEM NEM-2				SAS NEM NEM-2				Disk type: -	
EXT 0	EXT 1	EXT 2	EXT 3	EXT 0	EXT 1	EXT 2	EXT 3	WWN: -	

- 「New Assignments」 ボタンをクリックします。
- サーバブレードをクリックし、次にそのサーバブレードに割り当てる HDD または FMOD をクリックします。または、複数のサーバブレードを選択して、この割り当てを行います。  
ストレージデバイスが接続されていない HDD スロットまたは FMOD スロットは「empty」と表示されます。このようなスロットはサーバブレードに割り当てるできません。



**注意** - 複数のサーバブレードに HDD または FMOD を割り当てる場合は、サーバブレードのマルチパス化が有効になっていることを確認してください。詳細については、95 ページの「Web インタフェースを使用して複数のサーバブレードをストレージデバイスに割り当てる」を参照してください。

Sun Blade Zone Manager によって NEM0 と NEM1 の外部 SAS 接続が割り当てられますが、この時点ではサポートされません。

**New Assignment**

Click on components to include in a new access group and click 'Save'.

**SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-0000000-0000000000**

Slot 0	Slot 1	Slot 2	Slot 3	Slot 4	Slot 5	Slot 6	Slot 7	Slot 8	Slot 9
Server Blade	Storage Blade	Server Blade	Storage Blade	Server Blade	Storage Blade	Server Blade	Storage Blade	Server Blade	Storage Blade
SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2
HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0	HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1		HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0	HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1	HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0	HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1	HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0	HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1	HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0
[select all]	[select all]		[select all]	[select all]	[select all]	[select all]	[select all]	[select all]	[select all]
FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12	FMOD 23 FMOD 21 FMOD 19 FMOD 17 FMOD 15 FMOD 13		FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12	FMOD 23 FMOD 21 FMOD 19 FMOD 17 FMOD 15 FMOD 13	FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12	FMOD 23 FMOD 21 FMOD 19 FMOD 17 FMOD 15 FMOD 13	FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12	FMOD 23 FMOD 21 FMOD 19 FMOD 17 FMOD 15 FMOD 13	FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12
FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 11 FMOD 9 FMOD 7 FMOD 5 FMOD 3 FMOD 1		FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 11 FMOD 9 FMOD 7 FMOD 5 FMOD 3 FMOD 1	FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 11 FMOD 9 FMOD 7 FMOD 5 FMOD 3 FMOD 1	FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 11 FMOD 9 FMOD 7 FMOD 5 FMOD 3 FMOD 1	FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0

<b>NEM Slot 0</b>	<b>NEM Slot 1</b>	<b>NAC name:</b> -
SAS NEM NEM-2	SAS NEM NEM-2	<b>Disk type:</b> -
EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT 3	EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT 3	<b>WWN:</b> -

6. 「Save」をクリックして構成を保存します。

構成を保存した時の結果の詳細については、101 ページの「シャーシのストレージアクセス構成の保存」を参照してください。

**Zoning Config**

The current access permission assignments are displayed below. Click 'New Assignments' to make new access groupings. Or, click on any component to select all those which it has access assigned, then click 'Modify Group' to make changes to that selected group.

**SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-000000-0000000000**

Slot 0 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 1 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 2 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 3 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 4 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 5 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 6 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 7 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 8 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 9 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2
	HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1
	FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1

<b>NEM Slot 0</b>				<b>NEM Slot 1</b>				<b>NAC name:</b> -	
SAS NEM NEM-2				SAS NEM NEM-2				<b>Disk type:</b> -	
EXT 0	EXT 1	EXT 2	EXT 3	EXT 0	EXT 1	EXT 2	EXT 3	<b>WWN:</b> -	

7. 構成をバックアップします。

103 ページの「ストレージアクセス構成のバックアップ」を参照してください。

## CLI を使用したシャーシのストレージ構成の作成

シャーシのストレージ構成は、ストレージをサーバーブレードに割り当てるか、サーバーブレードをストレージデバイスに割り当てることで作成できます。いずれの方法でも同じ結果が得られます。

### ▼ CLI を使用してシャーシのストレージ構成を作成する

開始する前に: シャーシの構成が、67 ページの「サポートされるハードウェアおよびファームウェアの構成」の要件を満たしていることを確認します。

#### 1. Sun Blade Zone Manager へアクセスします。

68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。

#### 2. 次のいずれかの方法でシャーシのストレージ構成を作成します。

- **方法 1:** ストレージモジュールデバイスをサーバーブレードに割り当てるために、次のコマンドを使用します

```
-> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn
-> set add_storage_access=path_to_storage_device
```

ここでは、BLn はサーバーブレード、*path\_to\_storage\_device* はそのブレードに割り当てるストレージデバイスのパスを表します。( /CH/BL1/HDD0 など)。

- **方法 2:** サーバーブレードをストレージデバイスに割り当てるために、

次のいずれかのコマンドを実行します。

```
-> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn/HDDn
```

または

```
-> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn/FMODn
```

さらに次のコマンドを実行します。

```
-> set add_host_access=path_to_blade_server
```

ここでは、BLn はストレージブレード、HDDn および FMODn はそのストレージブレードに取り付けられているストレージデバイス、*path\_to\_blade\_server* はそのストレージデバイスに割り当てるサーバーのパスを表します。( /CH/BL0 など)。

次の例では、上記のコマンドを使用して、スロット 1 にあるストレージブレードのストレージデバイスと、スロット 0 にあるサーバーブレードとの間にゾーンを設定する方法について説明します。

- **方法 1** – ストレージモジュールデバイスをサーバーブレードに割り当てるためのコマンドの例。

コマンド	説明
<code>-&gt; cd /STORAGE/sas_zoning/BL0</code>	cd コマンドを実行して、ストレージを割り当てるホストサーバーブレードにアクセスします。
<code>-&gt; set add_storage_access=/CH/BL1/HDD0</code>	ブレードスロット 1 にあるストレージモジュールの HDD0 を現在のホストに割り当てます。
<code>-&gt; set add_storage_access=/CH/BL1/FMOD0</code>	ブレードスロット 1 にあるストレージモジュールの FMOD0 を現在のホストに割り当てます。
<code>-&gt; set add_storage_access= /CH/BL1/HDD0,/CH/BL1/FMOD0</code>	単一のコマンド行で複数のデバイスを割り当てます。デバイスへのフルパスを指定し、各デバイスはコマンドで区切ります (スペースなし)。
<code>-&gt; show /STORAGE/sas_zoning/BL0 Targets: 0 (/CH/BL1/HDD0) 1 (/CH/BL1/FMOD0)</code>	show コマンドを実行して、現在のホストに割り当てられているデバイスを確認します。

- **方法 2** – サーバーブレード (BL 0) をストレージモジュールデバイス (BL1/HDD0、BL1/FMOD0) に割り当てるためのコマンドの例。

コマンド	説明
<code>-&gt; cd /STORAGE/sas_zoning/BL1/HDD0</code>	cd コマンドを実行して、ストレージモジュールデバイス (この場合は BL1/HDD0) にアクセスします。
<code>-&gt; set add_host_access=/CH/BL0</code>	ストレージモジュールの現在のデバイス (HDD0) をブレードスロット 0 のホストに割り当てます。
<code>-&gt; show /STORAGE/sas_zoning/BL1/HDD0 Targets: 0 (/CH/BL0)</code>	show コマンドを実行して、現在のデバイスの割り当てを確認します。

コマンド	説明
-> <code>cd /STORAGE/sas_zoning/BL1/FMOD0</code>	cd コマンドを実行して、ストレージのモジュールデバイス (この場合は BL1/FMOD0) にアクセスします。
-> <code>set add_host_access=/CH/BL0</code>	ストレージモジュールの現在のデバイス (FMOD0) をブレードスロット 0 のホストに割り当てます。
-> <code>show</code> <code>/STORAGE/sas_zoning/BL1/FMOD0</code> Targets: 0 (/CH/BL0)	show コマンドを実行して、現在のデバイスの割り当てを確認します。

### 3. 構成をバックアップします。

[103 ページの「ストレージアクセス構成のバックアップ」](#) を参照してください。

## シャーシのストレージアクセス構成の表示または変更

Web インタフェースで Detailed Setup を使用するか、CLI を使用して、シャーシの現在のストレージアクセス構成を表示または変更ができます。

次の表に示されているいずれかの手順を実行して、現在のストレージ構成を表示または変更します。

タスク	リンク
Web インタフェースを使用して現在のストレージ構成を表示および変更する	<a href="#">87 ページの「Web インタフェースを使用してシャーシのストレージ構成を表示および変更する」</a>
CLI を使用して現在のストレージ構成を表示および変更する	<a href="#">93 ページの「CLI を使用してシャーシのストレージ構成を表示および変更する」</a>
複数のサーバーブレードをストレージデバイスに割り当てる	<a href="#">95 ページの「Web インタフェースを使用して複数のサーバーブレードをストレージデバイスに割り当てる」</a>
ストレージ構成を表形式で表示する	<a href="#">99 ページの「Web インタフェースを使用してストレージアクセス構成表を表示する」</a>



## ▼ Web インタフェースを使用してシャーシのストレージ構成を表示および変更する

開始する前に: シャーシの構成が、67 ページの「サポートされるハードウェアおよびファームウェアの構成」の要件を満たしていることを確認します。

1. Sun Blade Zone Manager へアクセスします。  
68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。
2. 「Sun Blade Zone Manager」セクションで、「Detailed Setup」ボタンをクリックします。  
シャーシの現在のゾーン構成が表示されます (次の図を参照)。

**Zoning Config**

The current access permission assignments are displayed below. Click 'New Assignments' to make new access groupings. Or, click on any component to select all those to which it has access assigned, then click 'Modify Group' to make changes to that selected group.

SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-0000000-0000000000

Slot 0	Slot 1	Slot 2	Slot 3	Slot 4	Slot 5	Slot 6	Slot 7	Slot 8	Slot 9
Server Blade	Server Blade	Storage Blade	Server Blade	Server Blade	Storage Blade	Server Blade	Storage Blade	Server Blade	Storage Blade
SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2
		HDD 6   HDD 7 HDD 4   HDD 5 HDD 2   HDD 3 HDD 0   HDD 1			HDD 6   HDD 7 HDD 4   HDD 5 HDD 2   HDD 3 HDD 0   HDD 1		HDD 6   HDD 7 HDD 4   HDD 5 HDD 2   HDD 3 HDD 0   HDD 1		HDD 6   HDD 7 HDD 4   HDD 5 HDD 2   HDD 3 HDD 0   HDD 1
		FMOD 22   FMOD 23 FMOD 20   FMOD 21 FMOD 18   FMOD 19 FMOD 16   FMOD 17 FMOD 14   FMOD 15 FMOD 12   FMOD 13 FMOD 10   FMOD 11 FMOD 8   FMOD 9 FMOD 6   FMOD 7 FMOD 4   FMOD 5 FMOD 2   FMOD 3 FMOD 0   FMOD 1			FMOD 22   FMOD 23 FMOD 20   FMOD 21 FMOD 18   FMOD 19 FMOD 16   FMOD 17 FMOD 14   FMOD 15 FMOD 12   FMOD 13 FMOD 10   FMOD 11 FMOD 8   FMOD 9 FMOD 6   FMOD 7 FMOD 4   FMOD 5 FMOD 2   FMOD 3 FMOD 0   FMOD 1		FMOD 22   FMOD 23 FMOD 20   FMOD 21 FMOD 18   FMOD 19 FMOD 16   FMOD 17 FMOD 14   FMOD 15 FMOD 12   FMOD 13 FMOD 10   FMOD 11 FMOD 8   FMOD 9 FMOD 6   FMOD 7 FMOD 4   FMOD 5 FMOD 2   FMOD 3 FMOD 0   FMOD 1		FMOD 22   FMOD 23 FMOD 20   FMOD 21 FMOD 18   FMOD 19 FMOD 16   FMOD 17 FMOD 14   FMOD 15 FMOD 12   FMOD 13 FMOD 10   FMOD 11 FMOD 8   FMOD 9 FMOD 6   FMOD 7 FMOD 4   FMOD 5 FMOD 2   FMOD 3 FMOD 0   FMOD 1

NEM Slot 0				NEM Slot 1			
SAS NEM NEM-2	EXT 0	EXT 1	EXT 2	SAS NEM NEM-2	EXT 0	EXT 1	EXT 2

NAC name:	-
Disk type:	-
WWN:	-

注 - ストレージデバイスが接続されていない HDD スロットまたは FMOD スロットは「empty」と表示されます。このようなスロットはサーバブレードに割り当てることができません。

3. ブレードまたはストレージのグループを変更するには、このグループを構成するブレードを選択します。

グループに割り当てられているストレージが強調表示されます。

**Zoning Config**

The current access permission assignments are displayed below. Click 'New Assignments' to make new access groupings. Or, click on any component to select all those to which it has access assigned, then click 'Modify Group' to make changes to that selected group.

[New Assignments](#) [Modify Group](#)

**SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-0000000-0000000000**

Slot 0	Slot 1	Slot 2	Slot 3	Slot 4	Slot 5	Slot 6	Slot 7	Slot 8	Slot 9
Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2
		HDD 6, HDD 7, HDD 4, HDD 5, HDD 2, HDD 3, HDD 0, HDD 1			HDD 6, HDD 7, HDD 4, HDD 5, HDD 2, HDD 3, HDD 0, HDD 1		HDD 6, HDD 7, HDD 4, HDD 5, HDD 2, HDD 3, HDD 0, HDD 1		HDD 6, HDD 7, HDD 4, HDD 5, HDD 2, HDD 3, HDD 0, HDD 1
		FMOD 22, FMOD 23, FMOD 20, FMOD 21, FMOD 18, FMOD 19, FMOD 16, FMOD 17, FMOD 14, FMOD 15, FMOD 12, FMOD 13, FMOD 10, FMOD 11, FMOD 8, FMOD 9, FMOD 6, FMOD 7, FMOD 4, FMOD 5, FMOD 2, FMOD 3, FMOD 0, FMOD 1			FMOD 22, FMOD 23, FMOD 20, FMOD 21, FMOD 18, FMOD 19, FMOD 16, FMOD 17, FMOD 14, FMOD 15, FMOD 12, FMOD 13, FMOD 10, FMOD 11, FMOD 8, FMOD 9, FMOD 6, FMOD 7, FMOD 4, FMOD 5, FMOD 2, FMOD 3, FMOD 0, FMOD 1		FMOD 22, FMOD 23, FMOD 20, FMOD 21, FMOD 18, FMOD 19, FMOD 16, FMOD 17, FMOD 14, FMOD 15, FMOD 12, FMOD 13, FMOD 10, FMOD 11, FMOD 8, FMOD 9, FMOD 6, FMOD 7, FMOD 4, FMOD 5, FMOD 2, FMOD 3, FMOD 0, FMOD 1		FMOD 22, FMOD 23, FMOD 20, FMOD 21, FMOD 18, FMOD 19, FMOD 16, FMOD 17, FMOD 14, FMOD 15, FMOD 12, FMOD 13, FMOD 10, FMOD 11, FMOD 8, FMOD 9, FMOD 6, FMOD 7, FMOD 4, FMOD 5, FMOD 2, FMOD 3, FMOD 0, FMOD 1

<b>NEM Slot 0</b> SAS NEM NEM-2 EXT 0, EXT 1, EXT 2, EXT 3	<b>NEM Slot 1</b> SAS NEM NEM-2 EXT 0, EXT 1, EXT 2, EXT 3	<b>NAC name:</b> - <b>Disk type:</b> - <b>WWN:</b> -
--	--	--

4. 「Modify Group」 ボタンをクリックします。

選択したグループはまだ強調表示されたままです。

5. グループのストレージデバイスを削除するには、そのストレージデバイスをクリックします。

次の図は、スロット 1 のプロセッサブレードから割り当てを解除するために選択された HDD 4-7 と FMOD 18-23 を示しています。

**Modify Group**

Indicated below is your selected group of components that currently have assigned access. Click on those within the group that you would like to remove access to. Click on any components outside the group that you want added. When you are ready to apply the changes, click 'Save'.

SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-000000-0000000000

Slot 0	Slot 1	Slot 2	Slot 3	Slot 4	Slot 5	Slot 6	Slot 7	Slot 8	Slot 9
Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2
	HDD 8 HDD 7 HDD 6 HDD 5 HDD 4 HDD 3 HDD 2 HDD 1	HDD 8 HDD 7 HDD 6 HDD 5 HDD 4 HDD 3 HDD 2 HDD 1			HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1	HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1	HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1
	FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1	FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1			FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1	FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1	FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1	FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1	

NEM Slot 0: SAS NEM NEM-2 EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT 3

NEM Slot 1: SAS NEM NEM-2 EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT 3

NAC name: -  
Disk type: -  
WWN: -

6. 「Save」 をクリックして、グループからストレージデバイスを削除します。

構成を保存した時の結果の詳細については、101 ページの「シャーシのストレージアクセス構成の保存」を参照してください。

7. 追加でストレージの割り当てを行わない場合は、構成をバックアップします。

103 ページの「ストレージアクセス構成のバックアップ」を参照してください。

8. 新規にストレージグループの割り当てを行うには、「New Assignments」ボタンをクリックします。

**Zoning Config**

The current access permission assignments are displayed below. Click 'New Assignments' to make new access groupings. Or, click on any component to select all those to which it has access assigned, then click 'Modify Group' to make changes to that selected group.

[New Assignments](#) [Modify Group](#)

SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-000000-000000000

Slot 0	Slot 1	Slot 2	Slot 3	Slot 4	Slot 5	Slot 6	Slot 7	Slot 8	Slot 9		
Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2		
		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1			HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		
		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1			FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		
NEM Slot 0 SAS NEM NEM-2 EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT 3		NEM Slot 1 SAS NEM NEM-2 EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT 3		NAC name: -						Disk type: -	
				WWW: -							

9. グループに追加するサーバブレードおよびストレージデバイスをクリックします。  
 次の例では、選択したストレージグループが緑色で強調表示されています。

**New Assignment**

Click on components to include in a new access group and click 'Save'.

SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-0000000-000000000

Slot 0 Server Blade	Slot 1 Server Blade	Slot 2 Storage Blade	Slot 3 Server Blade	Slot 4 Server Blade	Slot 5 Storage Blade	Slot 6 Server Blade	Slot 7 Storage Blade	Slot 8 Server Blade	Slot 9 Storage Blade
SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2
		HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0			HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0	HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1	HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0	HDD 7 HDD 5 HDD 3 HDD 1	HDD 6 HDD 4 HDD 2 HDD 0
		[select all]			[select all]	[select all]	[select all]		[select all]
		FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0			FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 23 FMOD 21 FMOD 19 FMOD 17 FMOD 15 FMOD 13 FMOD 11 FMOD 9 FMOD 7 FMOD 5 FMOD 3 FMOD 1	FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0	FMOD 23 FMOD 21 FMOD 19 FMOD 17 FMOD 15 FMOD 13 FMOD 11 FMOD 9 FMOD 7 FMOD 5 FMOD 3 FMOD 1	FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0

NEM Slot 0				NEM Slot 1				NAC name: -	
SAS NEM NEM-2				SAS NEM NEM-2				Disk type: -	
EXT 0	EXT 1	EXT 2	EXT 3	EXT 0	EXT 1	EXT 2	EXT 3	WWN: -	

10. 「Save (保存)」をクリックします。

これで、HDD 4-7 と FMOD 18-23 がスロット 0 に割り当てられます。

**Zoning Config**

The current access permission assignments are displayed below. Click 'New Assignments' to make new access groupings. Or, click on any component to select all those to which it has access assigned, then click 'Modify Group' to make changes to that selected group.

New Assignments Modify Group

**SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-0000000-0000000000**

Slot 0 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 1 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 2 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 3 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 4 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 5 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 6 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 7 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 8 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 9 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2
		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1			HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1
		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1			FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1

NEM Slot 0 SAS NEM NEM-2 EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT 3				NEM Slot 1 SAS NEM NEM-2 EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT 3				NAC name: -
								Disk type: -
								WWN: -

11. 構成をバックアップします。

103 ページの「ストレージアクセス構成のバックアップ」を参照してください。

## ▼ CLI を使用してシャーシのストレージ構成を表示および変更する

開始する前に: Quick Setup または Detailed Setup を使用して、シャーシの初期のゾーン構成を設定します。73 ページの「シャーシのストレージアクセス構成の作成」を参照してください。

1. CLI を使用して Zone Manager にアクセスします。

68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。

2. サーバードライブへのストレージデバイスの割り当てを表示するには、サーバードライブ単位またはストレージモジュール単位のいずれでも表示することができます。

次の例では、スロット 2 にあるストレージブレードの HDD0 と FMOD0 がスロット 0 にあるサーバードライブに割り当てられています。

- サーバードライブ単位でストレージの割り当てを表示するには、サーバードライブの SAS ゾーンのディレクトリを指定して show コマンドを実行します。例:

```
-> show /STORAGE/sas_zoning/BL0
```

```
Targets:  
0 (/CH/BL2/HDD0)  
1 (/CH/BL2/FMOD0)
```

この例では、スロット 2 にあるストレージブレードの HDD0 と FMOD0 がスロット 0 にあるサーバードライブに割り当てられています。

- ストレージデバイス単位でストレージの割り当てを表示するには、そのストレージデバイスについて、ストレージブレードの SAS ゾーンのディレクトリを指定して show コマンドを実行します。例:

```
-> show /STORAGE/BL2/HDD0
```

```
Targets:  
0 (/CH/BL0)
```

```
-> show /STORAGE/BL2/FMOD0
```

```
Targets:  
0 (/CH/BL0)
```

### 3. ストレージ割り当てを変更します。

サーバーブレードへのストレージデバイスの割り当ての変更や、ストレージデバイスへのサーバーブレードの割り当ての変更ができます。いずれの方法でも同じ結果が得られます。

**方法 1:** サーバーブレードへのストレージのアクセスを追加または削除します。

- ストレージモジュールをサーバーブレードに割り当てするには、次のコマンドを実行します。

```
-> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn  
-> set add_storage_access=path_to_storage_device
```

- ストレージモジュールをサーバーブレードから削除するには、次のコマンドを実行します。

```
-> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn  
-> set remove_storage_access=path_to_storage_device
```

ここでは、BLn はサーバーブレード、*path\_to\_storage\_device* はそのブレードに割り当てられるストレージデバイスのパスを表します。( /CH/BL1/HDD0 など)。

**方法 2:** ストレージブレードへのサーバーブレードのアクセスを追加または削除します。

- サーバーブレードをストレージデバイスに割り当てするには、次のいずれかのコマンドを実行します。

```
-> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn/HDDn
```

または

```
-> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn/FMODn
```

さらに次のコマンドを実行します。

```
-> set add_host_access=path_to_blade_server
```

- サーバーブレードをストレージデバイスから削除するには、次のいずれかのコマンドを実行します。

```
-> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn/HDDn
```

または

```
-> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn/FMODn
```

さらに、次のコマンドを実行します。

```
-> set remove_host_access=path_to_blade_server
```



ここでは、 $BLn$  はストレージブレード、 $HDDn$  および  $FMODn$  はそのストレージブレードに取り付けられているストレージデバイス、 $path\_to\_blade\_server$  はそのストレージデバイスに割り当てるサーバーのパスを表します。(/CH/BL0 など)。

---

注 – また、単一のコマンド行で複数のデバイスを追加または削除することも可能です。デバイスへのフルパスを指定し、各デバイスはコマンドで区切ります (スペースなし)。たとえば、-> `set add_storage_access=/CH/BL1/HDD0,/CH/BL1/FMOD0` と入力します。

---

#### 4. 構成をバックアップします。

103 ページの「[ストレージアクセス構成のバックアップ](#)」を参照してください。

## ▼ Web インタフェースを使用して複数のサーバーブレードをストレージデバイスに割り当てる

Sun Blade Zone Manager では、複数のサーバーブレードを 1 つのストレージデバイスに割り当てることができます。このオプションは、クラスタ化シナリオでのみ使用します。詳細については、ブレードストレージモジュールの管理マニュアルを参照してください。

---

注 – 他のサーバーとストレージを共有するようにサーバーモジュールが有効化されているかどうかについては、サーバーブレードのドキュメントを確認してください。

---

#### 1. Sun Blade Zone Manager へアクセスします。

5-68 ページの「[Sun Blade Zone Manager へのアクセス](#)」を参照してください。

#### 2. 「Sun Blade Zone Manager」セクションで、「Detailed Setup」ボタンをクリックします。

次の例では、ストレージモジュールのスロット 2 にある HDD8 は、スロット 0 のサーバーブレードのみに割り当てられています。

**Zoning Config**

The current access permission assignments are displayed below. Click 'New Assignments' to make new access groupings. Or, click on any component to select all those to which it has access assigned, then click 'Modify Group' to make changes to that selected group.

[New Assignments](#) [Modify Group](#)

**SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-0000000-0000000000**

Slot 0 Server Blade	Slot 1 Server Blade	Slot 2 Storage Blade	Slot 3 Server Blade	Slot 4 Server Blade	Slot 5 Storage Blade	Slot 6 Server Blade	Slot 7 Storage Blade	Slot 8 Server Blade	Slot 9 Storage Blade
SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2
		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1			HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1
		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1			FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1

<b>NEM Slot 0</b> SAS NEM NEM-2 EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT 3	<b>NEM Slot 1</b> SAS NEM NEM-2 EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT 3	NAC name: - Disk type: - WWN: -
--	--	---------------------------------------

3. 「New Assignments」をクリックします。
4. スロット 0 のサーバブレードとスロット 1 のサーバブレードの両方に HDD6 を割り当てるには、スロット 1 をクリックし、スロット 2 の HDD6 をクリックします。

**New Assignment**

Click on components to include in a new access group and click 'Save'.


SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-000000-000000000

Slot 0 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 1 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 2 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 3 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 4 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 5 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 6 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 7 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 8 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 9 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2
		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1			HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1		HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1
		(select all) FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0			(select all) FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0		(select all) FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0		(select all) FMOD 22 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 8 FMOD 6 FMOD 4 FMOD 2 FMOD 0

<b>NEM Slot 0</b> SAS NEM NEM-2 EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT 3		<b>NEM Slot 1</b> SAS NEM NEM-2 EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT 3		NAC name: - Disk type: - WWN: -
---	--	---	--	---------------------------------------

5. 「Save (保存)」をクリックします。

次のメッセージが表示されます。

 This will apply the add and remove changes you have specified.

Be aware that the changes specified will result in the following storage components being accessible by more than one server blade:

/CH/BL1/HDD7

This configuration is only supported in certain environments (such as clustering). Check your system documentation to ensure that this configuration is supported to avoid possible data loss.

Do you wish to continue?

6. 「OK」をクリックして続行します。

次の例では、スロット 2 の HDD6 が複数のサーバブレードによって共有されていることを表すためにピンク色で示されています。

**Zoning Config**

The current access permission assignments are displayed below. Click 'New Assignments' to make new access groupings. Or, click on any component to select all those to which it has access assigned, then click 'Modify Group' to make changes to that selected group.

This color indicates that the component is accessible by more than one server blade.  
Click the component to view which blades share access.

**SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-0000000-0000000000**

Slot 0	Slot 1	Slot 2	Slot 3	Slot 4	Slot 5	Slot 6	Slot 7	Slot 8	Slot 9
Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2
		HDD 6, HDD 7, HDD 4, HDD 5, HDD 2, HDD 3, HDD 0, HDD 1			HDD 6, HDD 7, HDD 4, HDD 5, HDD 2, HDD 3, HDD 0, HDD 1		HDD 6, HDD 7, HDD 4, HDD 5, HDD 2, HDD 3, HDD 0, HDD 1		HDD 6, HDD 7, HDD 4, HDD 5, HDD 2, HDD 3, HDD 0, HDD 1
		FMOD 22, FMOD 23, FMOD 20, FMOD 21, FMOD 18, FMOD 19, FMOD 16, FMOD 17, FMOD 14, FMOD 15, FMOD 12, FMOD 13, FMOD 10, FMOD 11, FMOD 8, FMOD 9, FMOD 6, FMOD 7, FMOD 4, FMOD 5, FMOD 2, FMOD 3, FMOD 0, FMOD 1			FMOD 22, FMOD 23, FMOD 20, FMOD 21, FMOD 18, FMOD 19, FMOD 16, FMOD 17, FMOD 14, FMOD 15, FMOD 12, FMOD 13, FMOD 10, FMOD 11, FMOD 8, FMOD 9, FMOD 6, FMOD 7, FMOD 4, FMOD 5, FMOD 2, FMOD 3, FMOD 0, FMOD 1		FMOD 22, FMOD 23, FMOD 20, FMOD 21, FMOD 18, FMOD 19, FMOD 16, FMOD 17, FMOD 14, FMOD 15, FMOD 12, FMOD 13, FMOD 10, FMOD 11, FMOD 8, FMOD 9, FMOD 6, FMOD 7, FMOD 4, FMOD 5, FMOD 2, FMOD 3, FMOD 0, FMOD 1		FMOD 22, FMOD 23, FMOD 20, FMOD 21, FMOD 18, FMOD 19, FMOD 16, FMOD 17, FMOD 14, FMOD 15, FMOD 12, FMOD 13, FMOD 10, FMOD 11, FMOD 8, FMOD 9, FMOD 6, FMOD 7, FMOD 4, FMOD 5, FMOD 2, FMOD 3, FMOD 0, FMOD 1

**NEM Slot 0**

SAS NEM NEM-2

EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT 3

**NEM Slot 1**

SAS NEM NEM-2

EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT 3

NAC name: -

Disk type: -

WWN: -

7. 構成をバックアップします。

5-103 ページの「ストレージアクセス構成のバックアップ」を参照してください。

## ▼ Web インタフェースを使用してストレージアクセス構成表を表示する

1. Sun Blade Zone Manager へアクセスします。  
5-68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。
2. 「Sun Blade Zone Manager」セクションで、「Detailed Setup」ボタンをクリックします。  
次の図は、ストレージアクセス構成の例です。

**Zoning Config**

The current access permission assignments are displayed below. Click 'New Assignments' to make new access groupings. Or, click on any component to select all those to which it has access assigned, then click 'Modify Group' to make changes to that selected group.

SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-0000000-000000000

Slot 0 Server Blade	Slot 1 Server Blade	Slot 2 Storage Blade	Slot 3 Server Blade	Slot 4 Server Blade	Slot 5 Storage Blade	Slot 6 Server Blade	Slot 7 Storage Blade	Slot 8 Server Blade	Slot 9 Storage Blade
SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2
		HDD 6, HDD 7, HDD 4, HDD 5, HDD 2, HDD 3, HDD 0, HDD 1			HDD 6, HDD 7, HDD 4, HDD 5, HDD 2, HDD 3, HDD 0, HDD 1		HDD 6, HDD 7, HDD 4, HDD 5, HDD 2, HDD 3, HDD 0, HDD 1		HDD 6, HDD 7, HDD 4, HDD 5, HDD 2, HDD 3, HDD 0, HDD 1
		FMOD 22, FMOD 23, FMOD 20, FMOD 21, FMOD 18, FMOD 19, FMOD 16, FMOD 17, FMOD 14, FMOD 15, FMOD 12, FMOD 13, FMOD 10, FMOD 11, FMOD 8, FMOD 9, FMOD 6, FMOD 7, FMOD 4, FMOD 5, FMOD 2, FMOD 3, FMOD 0, FMOD 1			FMOD 22, FMOD 23, FMOD 20, FMOD 21, FMOD 18, FMOD 19, FMOD 16, FMOD 17, FMOD 14, FMOD 15, FMOD 12, FMOD 13, FMOD 10, FMOD 11, FMOD 8, FMOD 9, FMOD 6, FMOD 7, FMOD 4, FMOD 5, FMOD 2, FMOD 3, FMOD 0, FMOD 1		FMOD 22, FMOD 23, FMOD 20, FMOD 21, FMOD 18, FMOD 19, FMOD 16, FMOD 17, FMOD 14, FMOD 15, FMOD 12, FMOD 13, FMOD 10, FMOD 11, FMOD 8, FMOD 9, FMOD 6, FMOD 7, FMOD 4, FMOD 5, FMOD 2, FMOD 3, FMOD 0, FMOD 1		FMOD 22, FMOD 23, FMOD 20, FMOD 21, FMOD 18, FMOD 19, FMOD 16, FMOD 17, FMOD 14, FMOD 15, FMOD 12, FMOD 13, FMOD 10, FMOD 11, FMOD 8, FMOD 9, FMOD 6, FMOD 7, FMOD 4, FMOD 5, FMOD 2, FMOD 3, FMOD 0, FMOD 1

NEM Slot 0				NEM Slot 1				NAC name:	
SAS NEM NEM-2				SAS NEM NEM-2				-	
EXT 0	EXT 1	EXT 2	EXT 3	EXT 0	EXT 1	EXT 2	EXT 3	Disk type:	
								-	
								WWN:	
								-	

3. サーバブレードのいずれかのスロットを選択します。  
この例では、スロット 0 が選択されています。
4. 「Current Assignments」表までスクロールダウンします。  
選択したサーバブレードについて、ストレージデバイスのすべての割り当てが表形式で表示されます。

Current Assignments for /CH/BL0		
Detach Table		
Component	Type	WWN
/CH/BL0	Server Blade (Virgo+)	-
/CH/NEM0/EXT0	SAS Port	-
/CH/NEM1/EXT0	SAS Port	-
/CH/BL2/HDD6	SAS HDD	80205010:12124556 80205010:12124557
/CH/BL2/HDD4	SAS HDD	80205010:12124556 80205010:12124557
/CH/BL2/HDD5	SAS HDD	80205010:12124556 80205010:12124557
/CH/BL2/HDD7	SAS HDD	80205010:12124556 80205010:12124557
/CH/BL2/FMOD23	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337
/CH/BL2/FMOD21	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337
/CH/BL2/FMOD19	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337
/CH/BL2/FMOD18	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337
/CH/BL2/FMOD20	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337
/CH/BL2/FMOD22	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337

5. 画面の他の部分から表を切り離すには、「Detach Table」をクリックします。

[\[Close\]](#)

Current Assignments for /CH/BL0		
Component	Type	WWN
/CH/BL0	Server Blade (Virgo+)	-
/CH/NEM0/EXT0	SAS Port	-
/CH/NEM1/EXT0	SAS Port	-
/CH/BL2/HDD6	SAS HDD	80205010:12124556 80205010:12124557
/CH/BL2/HDD4	SAS HDD	80205010:12124556 80205010:12124557
/CH/BL2/HDD5	SAS HDD	80205010:12124556 80205010:12124557
/CH/BL2/HDD7	SAS HDD	80205010:12124556 80205010:12124557
/CH/BL2/FMOD23	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337
/CH/BL2/FMOD21	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337
/CH/BL2/FMOD19	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337
/CH/BL2/FMOD18	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337
/CH/BL2/FMOD20	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337
/CH/BL2/FMOD22	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337

---

# シャーシのストレージアクセス構成の保存

この節では、新規または変更したストレージアクセスのゾーン構成を保存する時の重要な考慮事項と、ストレージアクセスのゾーン構成を保存したときに発生するアクションが説明されています。

この節では次の内容について説明します。

- 101 ページの「[ゾーン構成の保存に関する重要な考慮事項](#)」
- 101 ページの「[新規または変更したストレージアクセス構成の保存](#)」

## ゾーン構成の保存に関する重要な考慮事項

ストレージアクセス構成を保存する場合は、次の事に留意します。

- 構成情報は、SAS-2 NEM とストレージブレードとともに保存されます。ゾーンのハードウェア構成が変更されると、ゾーン構成が失われることがあります。ゾーン構成は、保存後すぐにバックアップしてください。103 ページの「[ストレージアクセス構成のバックアップ](#)」を参照してください。  
ストレージブレードや NEM のコンポーネントのホットプラグを行う影響の詳細については、ストレージブレードまたは NEM のドキュメントを参照してください。
- 保存処理の進行中に「Zone Manager」ウィンドウを閉じると、ウィンドウが閉じる前に処理された部分の構成しか保存されません。
- 保存処理の進行中は、ゾーン機能の割り当てに含まれるすべてのコンポーネントの削除や電源再投入を行わないでください。ゾーン構成が正しく保存されなくなります。

## 新規または変更したストレージアクセス構成の保存

新規または変更したストレージアクセス構成は、ILOM の Web インタフェースまたは CLI を使用して保存することができます。

- **Web インタフェースの場合:** Quick Setup または Detailed Setup でストレージアクセスの割り当てを行った後、「Save」ボタンをクリックします。
- **CLI の場合:** set コマンドでストレージ割り当てを実行すると、すぐに構成が保存されます。

新規構成が保存される時は、次の処理が実行されます。

- Quick Setup では、既存の構成が上書きされます。
- 構成の保存中は、すべてのストレージ制御が無効になります。
- Web インタフェースでは、新しい構成が適用された箇所がチェックマークで示されます。

### Quick Setup

Select how you would like all chassis storage resources allocated and click 'Save'.

1. Assign per individual disks.   
  2. Assign per adjacent individual disks.  
 3. Assign per storage blade.   
  4. Assign per adjacent storage blade.

Setting zoning assignments - please wait...

SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-0000000-000000000

Slot 0 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 1 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 2 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 3 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 4 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 5 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 6 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 7 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 8 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Slot 9 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2																																																																																																																																																										
✓	✓	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>HDD 4</td><td>✓</td></tr> <tr><td>HDD 2</td><td>HDD 3</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> </table>	✓	✓	HDD 4	✓	HDD 2	HDD 3	✓	✓	✓	✓	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>HDD 4</td><td>HDD 5</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>HDD 0</td><td>HDD 1</td></tr> </table>	✓	✓	HDD 4	HDD 5	✓	✓	HDD 0	HDD 1	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>HDD 6</td><td>HDD 7</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>HDD 2</td><td>HDD 3</td></tr> <tr><td>✓</td><td>HDD 1</td></tr> </table>	✓	✓	HDD 6	HDD 7	✓	✓	HDD 2	HDD 3	✓	HDD 1	✓	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>HDD 4</td><td>HDD 5</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>HDD 0</td><td>✓</td></tr> </table>	✓	✓	HDD 4	HDD 5	✓	✓	HDD 0	✓	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>HDD 6</td><td>HDD 7</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>HDD 2</td><td>✓</td></tr> <tr><td>HDD 0</td><td>HDD 1</td></tr> </table>	✓	✓	HDD 6	HDD 7	✓	✓	HDD 2	✓	HDD 0	HDD 1																																																																																																														
✓	✓																																																																																																																																																																		
HDD 4	✓																																																																																																																																																																		
HDD 2	HDD 3																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
HDD 4	HDD 5																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
HDD 0	HDD 1																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
HDD 6	HDD 7																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
HDD 2	HDD 3																																																																																																																																																																		
✓	HDD 1																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
HDD 4	HDD 5																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
HDD 0	✓																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
HDD 6	HDD 7																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
HDD 2	✓																																																																																																																																																																		
HDD 0	HDD 1																																																																																																																																																																		
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 22</td><td>FMOD 23</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 18</td><td>FMOD 19</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 14</td><td>✓</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 12</td><td>FMOD 13</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 8</td><td>FMOD 9</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 4</td><td>✓</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 2</td><td>FMOD 3</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> </table>	✓	✓	FMOD 22	FMOD 23	✓	✓	FMOD 18	FMOD 19	✓	✓	FMOD 14	✓	✓	✓	FMOD 12	FMOD 13	✓	✓	FMOD 8	FMOD 9	✓	✓	FMOD 4	✓	✓	✓	FMOD 2	FMOD 3	✓	✓			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 20</td><td>FMOD 23</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 18</td><td>FMOD 19</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 14</td><td>FMOD 15</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 10</td><td>✓</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 8</td><td>FMOD 9</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 4</td><td>FMOD 5</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 0</td><td>✓</td></tr> </table>	✓	✓	FMOD 20	FMOD 23	✓	✓	FMOD 18	FMOD 19	✓	✓	FMOD 14	FMOD 15	✓	✓	FMOD 10	✓	✓	✓	FMOD 8	FMOD 9	✓	✓	FMOD 4	FMOD 5	✓	✓	FMOD 0	✓	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 20</td><td>FMOD 21</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 18</td><td>FMOD 19</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 16</td><td>FMOD 17</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 14</td><td>FMOD 15</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 10</td><td>FMOD 11</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 6</td><td>FMOD 9</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 4</td><td>FMOD 5</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 0</td><td>FMOD 1</td></tr> </table>	✓	✓	FMOD 20	FMOD 21	✓	✓	FMOD 18	FMOD 19	✓	✓	FMOD 16	FMOD 17	✓	✓	FMOD 14	FMOD 15	✓	✓	FMOD 10	FMOD 11	✓	✓	FMOD 6	FMOD 9	✓	✓	FMOD 4	FMOD 5	✓	✓	FMOD 0	FMOD 1		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 22</td><td>FMOD 23</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 18</td><td>FMOD 21</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 16</td><td>FMOD 17</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 12</td><td>FMOD 15</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 10</td><td>FMOD 11</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 6</td><td>FMOD 7</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 4</td><td>FMOD 5</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 2</td><td>✓</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> </table>	✓	✓	FMOD 22	FMOD 23	✓	✓	FMOD 18	FMOD 21	✓	✓	FMOD 16	FMOD 17	✓	✓	FMOD 12	FMOD 15	✓	✓	FMOD 10	FMOD 11	✓	✓	FMOD 6	FMOD 7	✓	✓	FMOD 4	FMOD 5	✓	✓	FMOD 2	✓	✓	✓	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 22</td><td>FMOD 23</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 18</td><td>FMOD 21</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 16</td><td>FMOD 17</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 12</td><td>FMOD 13</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 8</td><td>FMOD 11</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 6</td><td>FMOD 7</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>FMOD 2</td><td>FMOD 3</td></tr> <tr><td>✓</td><td>✓</td></tr> </table>	✓	✓	FMOD 22	FMOD 23	✓	✓	FMOD 18	FMOD 21	✓	✓	FMOD 16	FMOD 17	✓	✓	FMOD 12	FMOD 13	✓	✓	FMOD 8	FMOD 11	✓	✓	FMOD 6	FMOD 7	✓	✓	FMOD 2	FMOD 3	✓	✓
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 22	FMOD 23																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 18	FMOD 19																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 14	✓																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 12	FMOD 13																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 8	FMOD 9																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 4	✓																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 2	FMOD 3																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 20	FMOD 23																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 18	FMOD 19																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 14	FMOD 15																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 10	✓																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 8	FMOD 9																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 4	FMOD 5																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 0	✓																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 20	FMOD 21																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 18	FMOD 19																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 16	FMOD 17																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 14	FMOD 15																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 10	FMOD 11																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 6	FMOD 9																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 4	FMOD 5																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 0	FMOD 1																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 22	FMOD 23																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 18	FMOD 21																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 16	FMOD 17																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 12	FMOD 15																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 10	FMOD 11																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 6	FMOD 7																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 4	FMOD 5																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 2	✓																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 22	FMOD 23																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 18	FMOD 21																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 16	FMOD 17																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 12	FMOD 13																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 8	FMOD 11																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 6	FMOD 7																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		
FMOD 2	FMOD 3																																																																																																																																																																		
✓	✓																																																																																																																																																																		

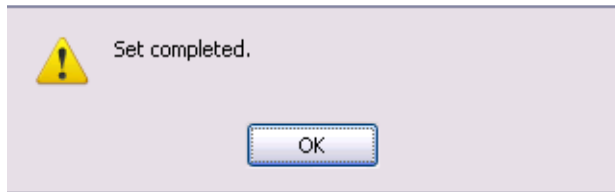
NEM Slot 0			
SAS NEM			
NEM-2			
EXT 0	EXT 1	EXT 2	EXT 3

NEM Slot 1			
SAS NEM			
NEM-2			
EXT 0	EXT 1	EXT 2	EXT 3

NAC name:	/CH/BL9/FMOD1
Disk type:	SAS
WWN:	80205010:33333336 80205010:33333337



- Web インタフェースでは、ストレージ構成が保存された時点でセットアップ完了のメッセージが表示されます。



---

## ストレージアクセス構成のバックアップ

ゾーン構成を失い復元が必要になる場合に備えて、構成の保存後にバックアップをします。

この節では、次の手順について説明します。

- 103 ページの「Web インタフェースを使用してゾーン構成をバックアップファイルに保存する」
- 104 ページの「CLI を使用してゾーン構成をバックアップファイルに保存する」

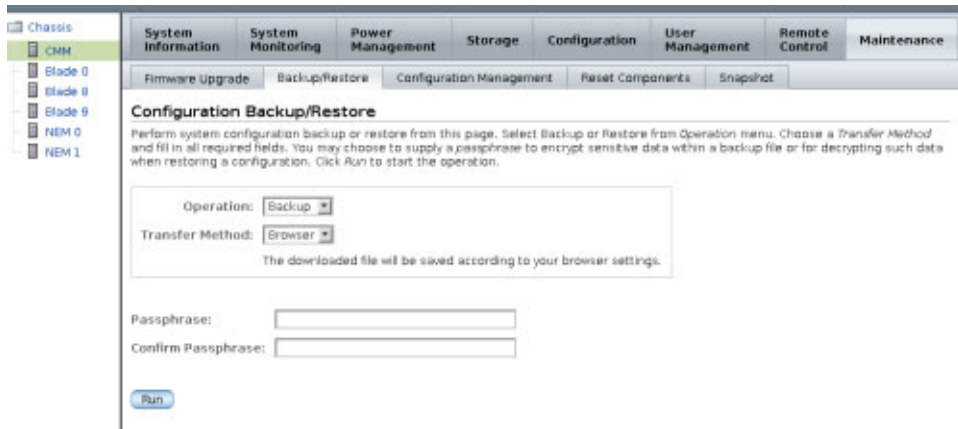
### ▼ Web インタフェースを使用してゾーン構成をバックアップファイルに保存する

1. 「Quick Setup」画面または「Detailed Setup」画面で構成を保存した後、「CMM」の「Maintenance」タブをクリックします。

CMM の保守用のサブタブが表示されます。

2. 「Backup/Restore」タブをクリックします。

「Configuration Backup/Restore」ページが表示されます。



3. 「Operation」のドロップダウンリストから「Backup」を選択します。
4. バックアップファイルを作成するための情報をページに入力します。  
ILOMの「Backup/Restore」を使用する手順の詳細については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Web Interface 手順ガイド』を参照してください。

## ▼ CLI を使用してゾーン構成をバックアップファイルに保存する

1. ストレージアクセス構成を設定した後、ディレクトリを `/SP/config` に変更します。  
-> `cd /SP/config`
2. ユーザーパスワード、SSH 鍵、証明書など、機密性の高いデータをバックアップする場合は、パスフレーズを指定する必要があります。  
-> `set passphrase=passphrase`
3. バックアップ処理を開始するには、次のコマンドを入力します。  
-> `set dump_uri=`  
`transfer_method://username:password@ipaddress_or_hostname/directorypath/filename.config`  
各エントリの内容は次のとおりです。
  - `transfer_method` には、`tftp`、`ftp`、`sftp`、`scp`、`http`、`https` を指定できます。
  - `username` は、リモートシステムでのユーザーアカウント名です。`(username` は、`scp`、`sftp`、および `ftp` では必須です。`username` は、`tftp` では使用されず、`http` および `https` では省略可能です)。

- *password* は、リモートシステムでのユーザーアカウントのパスワードです。  
(*password* は、*scp*、*sftp*、および *ftp* では必須です。*password* は、*tftp* では使用されず、*http* および *https* では省略可能です)。
- *ipaddress\_or\_hostname* は、リモートシステムの IP アドレスまたはホスト名です。
- *directorypath* は、リモートシステムのストレージの位置です。
- *filename* は、バックアップファイルに割り当てられた名前です。

ILOM の「Backup/Restore」を使用する手順の詳細については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 CLI 手順ガイド』を参照してください。

---

## ゾーン構成の復元

この節では、故障やハードウェア交換で失った、ホストからストレージへのゾーン構成を復元する方法を説明します。

この節では、次の手順について説明します。

- [105 ページの「Web インタフェースを使用してゾーン構成を復元する」](#)
- [108 ページの「CLI を使用してゾーン構成を復元する」](#)

### ▼ Web インタフェースを使用してゾーン構成を復元する

先に、復元するゾーン構成を保存した CMM ILOM 設定のバックアップファイルを作成しておく必要があります。

---

注 – 上級ユーザーや Oracle の技術者向け: CMM ILOM 設定のバックアップファイルは XML ファイルです。CMM ILOM 設定のバックアップファイルが複数あり、必要なゾーン構成が最新のバージョンに保存されていない場合は、あるファイルからストレージ割り当てセクションをコピーし、別のファイルに貼り付けることができます。この操作を実行するには、復元するゾーン構成がストレージモジュールおよびサーバーブレードと同じ物理スロットにある必要があります。この手順の実行方法の詳細については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 CLI 手順ガイド』を参照してください。

---

1. Web ブラウザを開き、次の URL を入力して CMM にログインします。

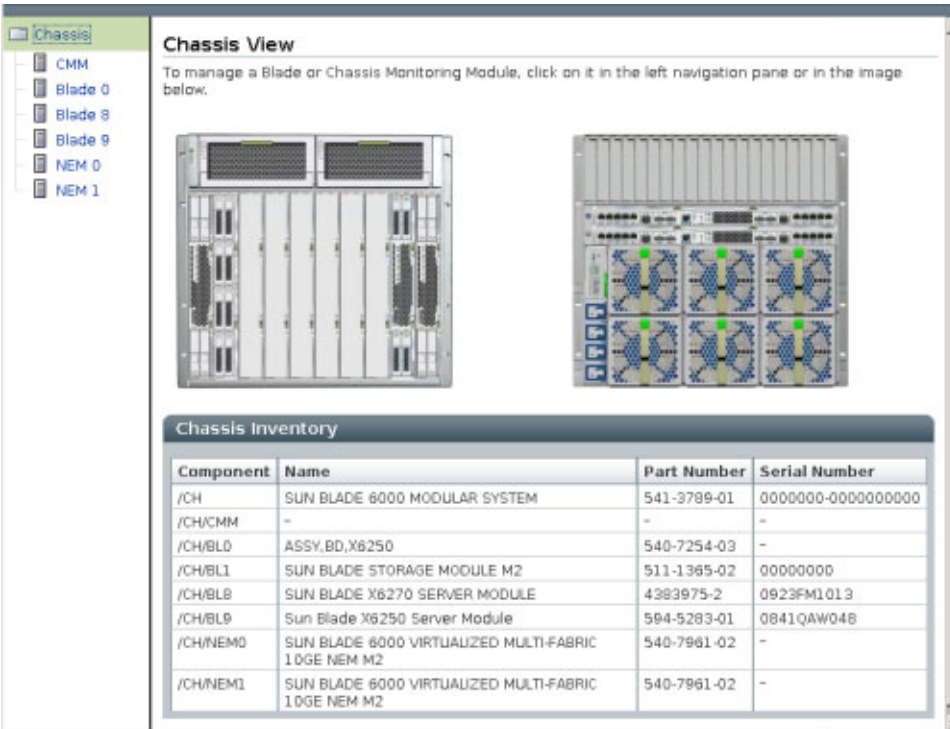
**http://chassis\_sp\_ipaddress/**

ここでは、*chassis\_sp\_ipaddress* はシャーシのサービスプロセッサの IP アドレスを表します。

ILOM のログインページが表示されます。

2. root としてログインします。

CMM ILOM のメインページが表示されます。



The screenshot displays the 'Chassis View' interface. On the left is a navigation pane with a tree structure containing 'CMM', 'Blade 0', 'Blade 8', 'Blade 9', 'NEM 0', and 'NEM 1'. The main area is titled 'Chassis View' and includes a sub-header: 'To manage a Blade or Chassis Monitoring Module, click on it in the left navigation pane or in the image below.' Below this are two images: a front view of a server chassis and a top-down view of a server blade. At the bottom is a 'Chassis Inventory' table with the following data:

Component	Name	Part Number	Serial Number
/CH	SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM	541-3789-01	0000000-0000000000
/CH/CMM	-	-	-
/CH/BL0	ASSY,BD,X6250	540-7254-03	-
/CH/BL1	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	511-1365-02	00000000
/CH/BLB	SUN BLADE X6270 SERVER MODULE	4383975-2	0923FM1013
/CH/BL9	Sun Blade X6250 Server Module	594-5283-01	0841QAW048
/CH/NEM0	SUN BLADE 6000 VIRTUALIZED MULTI-FABRIC 10GE NEM M2	540-7961-02	-
/CH/NEM1	SUN BLADE 6000 VIRTUALIZED MULTI-FABRIC 10GE NEM M2	540-7961-02	-

3. 「Chassis」ナビゲーション区画で「CMM」を選択した状態で、CMMの「Maintenance」タブをクリックします。

CMMの保守用のサブタブが表示されます。

4. 「Backup/Restore」タブをクリックします。

「Configuration Backup/Restore」ページが表示されます。

Configuration Backup/Restore

Perform system configuration backup or restore from this page. Select Backup or Restore from Operation menu. Choose a Transfer Method and fill in all required fields. You may choose to supply a passphrase to encrypt sensitive data within a backup file or for decrypting such data when restoring a configuration. Click Run to start the operation.

Operation: Backup

Transfer Method: Browser

The downloaded file will be saved according to your browser settings.

Passphrase:

Confirm Passphrase:

Run

5. 「Operation」のドロップダウンリストから「Restore」を選択します。

バックアップファイルを復元するための情報をページに入力します。

ILOMの「Backup/Restore」を使用する手順の詳細については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Web Interface 手順ガイド』を参照してください。

6. 復元処理を開始するには、「Run」をクリックします。

復元処理が実行されます。

---

注 – 復元処理の実行中は、ILOM SPのセッションは一時停止します。復元処理が完了すると、このセッションは通常の処理を再開します。通常、復元処理は2-3分で完了します。

---

## ▼ CLI を使用してゾーン構成を復元する

先に、復元するゾーン構成を保存した CMM ILOM 設定のバックアップファイルを作成しておく必要があります。

---

注 – 上級ユーザーや Oracle の技術者向け: CMM ILOM 設定のバックアップファイルは XML ファイルです。CMM ILOM 設定のバックアップファイルが複数あり、必要なゾーン構成が最新のバージョンに保存されていない場合は、あるファイルからストレージ割り当てセクションをコピーし、別のファイルに貼り付けることができます。この操作を実行するには、復元するゾーン構成がストレージモジュールおよびサーバーブレードと同じ物理スロットにある必要があります。この手順の実行方法の詳細については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 CLI 手順ガイド』を参照してください。

---

1. 端末ウィンドウを開き、次のコマンドを入力して CMM への SSH 接続を確立します。

```
# ssh -l root cmm_ipaddress
```

ここでは、*cmm\_ipaddress* は、CMM の IP アドレスを表します。

ログインプロンプトが表示されます。

2. 次に示すように、*root* としてログインしてルートパスワードを入力します。

```
/hostname/login: root
```

パスワード: xxxxxxxx

正常にログインすると、次の CLI プロンプトが表示されます。

```
->
```

3. 次のコマンドを実行してディレクトリを */SP/config* に変更します。

```
-> cd /SP/config
```

4. 復元処理を開始するには、次のコマンドを入力します。

```
-> set load_uri=
```

```
transfer_method://username:password@ipaddress_or_hostname/directorypath/filename.config
```

各エントリの内容は次のとおりです。

- *transfer\_method* には、*tftp*、*ftp*、*sftp*、*scp*、*http*、*https* を指定できます。
- *username* は、リモートシステムでのユーザーアカウント名です。( *username* は、*scp*、*sftp*、および *ftp* では必須です。 *username* は、*tftp* では使用されず、*http* および *https* では省略可能です)。
- *password* は、リモートシステムでのユーザーアカウントのパスワードです。( *password* は、*scp*、*sftp*、および *ftp* では必須です。 *password* は、*tftp* では使用されず、*http* および *https* では省略可能です)。

- *ipaddress\_or\_hostname* は、リモートシステムの IP アドレスまたはホスト名です。
- *directorypath* は、リモートシステムのストレージの位置です。
- *filename* は、バックアップファイルに割り当てられた名前です。  
復元処理が実行されます。

---

## ゾーン構成のリセット

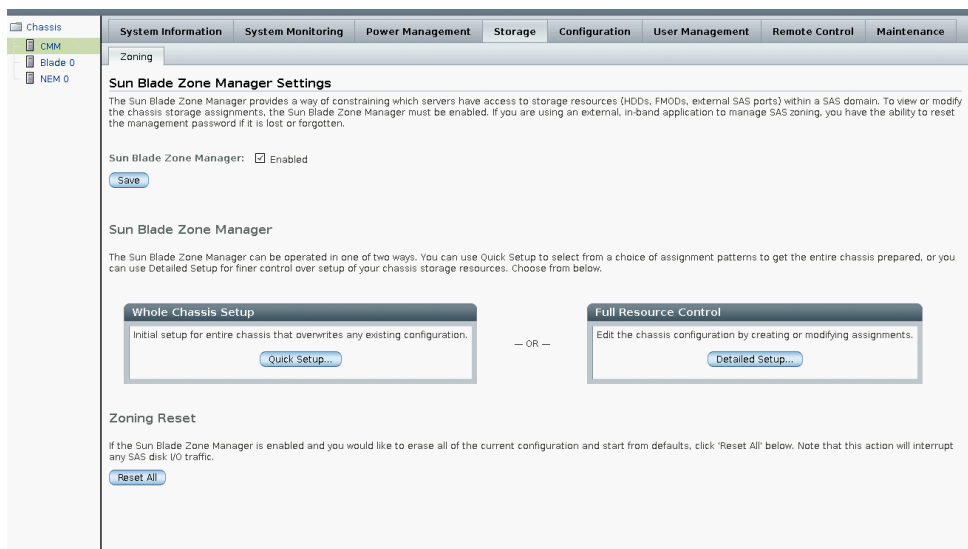
この節では、現在のゾーン構成をリセットする方法について説明します。

この構成には、次の手順があります。

- [109 ページの「Web インタフェースを使用してゾーン構成をリセットする」](#)
- [110 ページの「CLI を使用してゾーン構成をリセットする」](#)

### ▼ Web インタフェースを使用してゾーン構成をリセットする

1. Sun Blade Zone Manager へアクセスします。  
[68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」](#)を参照してください。
2. 「Storage」、「Zoning」の順にクリックします。  
ゾーン機能が有効になっている場合は、「Zone Manager Settings」ページの「Reset All」ボタンを使用できます。



3. 「Reset All」 ボタンをクリックして、現在のゾーン機能の割り当てをリセットします。

## ▼ CLI を使用してゾーン構成をリセットする

1. CMM CLI を使用して Sun Blade Zone Manager にアクセスします。  
68 ページの「[Sun Blade Zone Manager へのアクセス](#)」を参照してください。
2. 次のコマンドを実行して /STORAGE/sas\_zoning に移動します。  
-> **cd /STORAGE/sas\_zoning**
3. 次のコマンドを実行して、現在のゾーン機能の割り当てをリセットします。  
-> **set reset\_access\_action=true**

Zone Manager が無効になっている場合は、次の警告が表示されます。

```
set: The CMM is not the SAS Zone Manager
```

このメッセージが表示された場合は、Zone Manager を有効にし、リセットのコマンドを再度実行します。



# ゾーンのパスワードのリセット

ゾーンのパスワードは、ホスト OS で実行されている帯域内のゾーン管理アプリケーションでのみ要求されます。

このようなアプリケーションを使用していて、ゾーンのパスワードを紛失したり、忘れてしまった場合は、このパスワードをデフォルト値 (すべてゼロ) に戻します。

---

**注** – パスワードをリセットするには、Sun Blade Zone Manager を無効にする必要があります。

---

この構成には、次の手順があります。

- [111 ページの「Web インタフェースを使用してゾーンのパスワードをリセットする」](#)
- [112 ページの「CLI を使用してゾーンのパスワードをリセットする」](#)

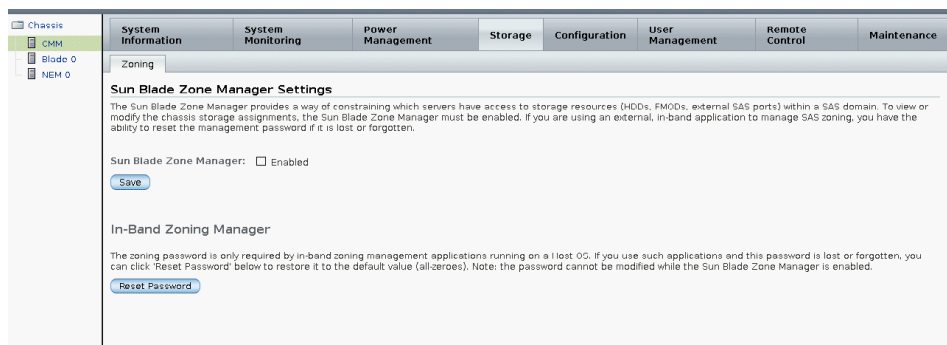
## ▼ Web インタフェースを使用してゾーンのパスワードをリセットする

1. Sun Blade Zone Manager へアクセスします。

[68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」](#)を参照してください。

2. 「Storage」、「Zoning」の順にクリックします。

ゾーン機能が無効になっている場合は、「Zoning」ページの「Reset Password」ボタンを使用できます。



3. 「Reset Password」ボタンをクリックして、パスワードをデフォルト (すべてゼロ) にリセットします。

## ▼ CLI を使用してゾーンのパスワードをリセットする

1. CMM CLI を使用して Sun Blade Zone Manager にアクセスします。  
68 ページの「[Sun Blade Zone Manager へのアクセス](#)」を参照してください。
2. 次のコマンドを実行して、`/STORAGE/sas_zoning` に移動します。  
-> **cd /STORAGE/sas\_zoning**
3. 次のコマンドを実行して、現在のゾーン機能の割り当てをリセットします。  
-> **set reset\_password\_action=true**  
パスワードがデフォルト (すべてゼロ) に設定されます。

# 索引

---

## C

### CLI

- CLI を使用した Sun Blade Zone Manager の  
シャーシのストレージ構成の作成, 84
  - CLI を使用したストレージ構成の表示および  
変更, 93
  - CMM ILOM ファームウェアを更新するために  
使用, 32
  - CMM のリセット, 44
  - Ethernet 管理ポートの CLI  
ファームウェアのバージョンを確認するた  
めに使用, 28
  - Ethernet ポートの有効化, 21
  - Sun Blade Zone Manager, 63
  - Sun Blade Zone Manager へのアクセスおよび  
有効化, 71
  - コンポーネントのファームウェアの更新, 42
  - シリアル管理ポートの CLI  
ファームウェアのバージョンを確認するた  
めに使用, 29
  - ストレージのゾーン構成のバックアップ, 104
  - ストレージのゾーン構成の復元, 108
  - ストレージのゾーン構成のリセット, 110
  - ゾーンのパスワードのリセット, 112
  - ブレード SP プロンプトの変更, 22
  - ログイン, 18, 19
- CMM ILOM の概要, 2
- CMM ILOM のバージョン, 2
- CMM ILOM への初回ログイン, 17
- CMM ILOM への接続

### DHCP, 10

- シリアル接続, 7
- 静的 IP アドレスの設定, 9, 11

### CMM ILOM へのログイン

- Web インタフェースの使用, 18
- CLI の使用, 19

### CMM の Ethernet ポート、有効化, 19

### CMM のリセット

- CLI の使用, 44
- Web インタフェースの使用, 43

## D

### DHCP

- CMM の IP アドレスへのアクセス, 10

## E

### Ethernet ポート

- CLI による有効化, 21
- Web インタフェースによる有効化, 20

## I

### ILOM CLI インタフェース

- ログイン, 19
- IP アドレスの割り当て  
CLI を使用した編集, 10

## S

### Sun Blade Zone Manager

- CLI, 63
- CLI を使用したアクセス, 71

- CLI を使用した有効化, 71
- Web インタフェースを使用したアクセス, 68
- Web インタフェースを使用した有効化, 68
- 概要, 60
- サポートされる ILOM インタフェース, 60
- サポートされるハードウェアおよびファームウェアの構成, 67
- シャーシのストレージアクセス構成の作成
  - CLI の使用, 84
  - Detailed Setup の使用, 80
  - Quick Setup の使用, 73,77
- ストレージアクセス構成の保存, 101
- ストレージアクセス構成表, 99
- ストレージ構成の表示および変更
  - CLI の使用, 93
  - Web インタフェースの使用, 87
- ストレージデバイスへの複数のサーバーブレードの割り当て, 95
- ゾーン構成のバックアップ
  - CLI の使用, 104
  - Web インタフェースの使用, 103
- ゾーン構成の復元
  - CLI の使用, 108
  - Web インタフェースの使用, 105
- ゾーン構成のリセット
  - CLI の使用, 110
  - Web インタフェースの使用, 109
- ゾーンのパスワードのリセット
  - CLI の使用, 112
  - Web インタフェースの使用, 111
- Sun Blade Zone Manager の Detailed Setup, 80
- Sun Blade Zone Manager の Quick Setup, 73,77
- Sun Blade Zone Manager の概要, 60
- Sun Blade Zone Manager のストレージアクセス構成表, 99

## W

- Web インタフェース
  - CLI を使用したストレージ構成の表示および変更, 87
- CMM ILOM ファームウェアを更新するために使用, 31
- CMM のリセット, 43
- Ethernet ポートの有効化, 20

- Sun Blade Zone Manager へのアクセスおよび有効化, 68
- コンポーネントのファームウェアの更新, 40
- ストレージのゾーン構成のバックアップ, 103
- ストレージのゾーン構成の復元, 105
- ストレージのゾーン構成のリセット, 109
- ゾーンのパスワードのリセット, 111
- ログイン, 18

## す

- ストレージアクセス構成の保存, 101
- ストレージデバイスに割り当てられる複数のブレード, 95

## せ

- 静的 IP アドレス設定, 9,11

## ふ

- ファームウェア
  - CMM ILOM の更新, 25
  - CLI の使用, 32
  - Web インタフェースの使用, 31
- Sun Blade Zone Manager の要件, 67
- 現在の CMM バージョンの確認
  - Ethernet 管理ポートの CLI の使用, 28
  - Web インタフェースの使用, 27
  - シリアル管理ポートの CLI の使用, 29
- コンポーネントのファームウェアの更新, 39
  - CLI の使用, 42
  - Web インタフェースの使用, 40
- ダウンロード, 30
- ブレード SP CLI プロンプト変更, 22